

はじめに

「E5383s-327」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご使用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本書の見かた

本書では、本端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- ・ 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは、異なる場合があります。
- ・ 本書では、「E5383s-327」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

■「かんたんセットアップマニュアル」（本体付属品）

本端末とパソコン、やiPhoneなどの接続方法について説明しています。

■「ご利用にあたっての注意事項」（本体付属品）

本端末をご使用の際に、ご注意いただきたい事項などを説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

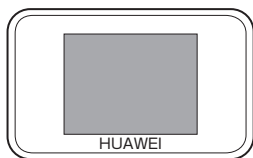
本端末とパソコンの接続方法、各種機能の設定、操作方法について詳しく説明しています。

- 本書について、最新の情報は、HUAWEIのホームページよりダウンロードできます。
 - 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
<http://consumer.huawei.com/jp/mobile-broadband/support/manuals/e5383-jp.htm>
 - ・ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。



本体付属品

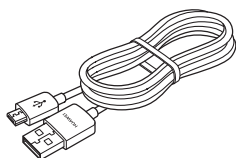
E5383s-327 (保証書付き)



リアカバー



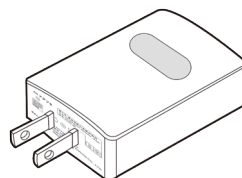
USB接続ケーブル



電池パック



ACアダプタ (保証書付き)



- かんたんセットアップマニュアル
- ご利用にあたっての注意事項
- 無線LAN 初期設定シール

目次

本体付属品	1
本端末のご利用について	3
E5383s-327の主な機能	4
安全上のご注意（必ずお守りください）	6
取り扱い上のご注意	12
防塵性能	16

ご使用前の確認 P.<17>	<ul style="list-style-type: none">• 各部の名称と機能• Micro SIMカードを使う• 電池パックの取り付けかた／取り外しかた• 充電する• 電源を入れる／切る• 画面の見かた• タッチパネルの使いかた• 英数字と記号の入力
セットアップ P.<33>	<ul style="list-style-type: none">• セットアップについて• USB接続ケーブルで接続／通信する
各種設定（Webブラウザ） P.<69>	<ul style="list-style-type: none">• Mobile Wi-Fiについて• E5383s-327の状態を確認する• 各種機能の詳細設定をする• データ通信量を確認する• ソフトウェアの更新をする
各種設定（本体メニュー） P.<114>	<ul style="list-style-type: none">• 本端末の本体メニューについて• 各種機能の詳細設定をする
付録 P.<132>	<ul style="list-style-type: none">• メニュー一覧• 故障かな？と思ったら• ソフトウェア更新• 主な仕様• データ通信端末の比吸収率（SAR）について• 輸出管理規制• 知的財産権



本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用しているときでも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末では、Micro SIMカードのみで使用になります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなることがあります。
- 本端末は、音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応していません。
- 接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合はIDとパスワードを入力して接続してください。
IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 紛失に備え、パスコードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。→P.<125>
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.<148>
- 本端末は国際ローミングに対応しています。海外でもLTE/3Gネットワークを利用して、データの送受信ができます。国際ローミングご利用時の情報と料金については、通信事業者へお問い合わせください。



E5383s-327の主な機能

本端末は、Wi-Fi機能により同時に複数のパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器と接続できます。さらに、USB接続ケーブルでパソコンと接続してデータの送受信をできます。

- ・ 通信速度について詳しくは、「主な仕様」をご覧ください。→P.<151>

Wi-Fiで接続する

本端末とパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器を接続し、データの送受信を行います。本端末はWi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで）接続できます。

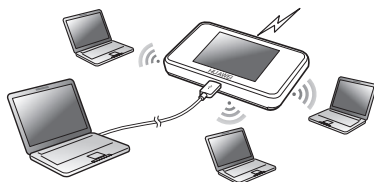


USB接続ケーブルで接続／通信する

本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続し、データの送受信を行います。

Wi-Fi接続とUSBテザリングを同時に利用することもできます。

USB接続ケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで）接続できます。



■ DFS機能

本端末はWi-Fi 5GHz帯での電波干渉を避けるため、法令（電波法）により、DFS機能を搭載しています。本端末が利用するWi-Fi 5GHzの周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本端末を使用する場所によっては気象レーダーなどの電波干渉が起きる可能性があります。

そこで、本端末がWi-Fi 5GHz帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS機能が作動し、電波干渉を起こさないWi-Fi 5GHz帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。

周囲に同じWi-Fi 5GHz帯を使っている無線LAN装置などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなることがあります。

■ Wi-Fi 5GHz帯への切り替えについて

本端末をWi-Fi 2.4GHz帯からWi-Fi 5GHz帯に切り替えると、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがいないかを最低でも1分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書ではDFSチェックと呼びます。

Wi-Fi 5GHz帯の設定で本端末の電源を入れたときや、ネットワークスリープ機能などでWi-Fi接続が切断された状態から復帰するときなども、DFSチェックが作動します。DFSチェック中は、Wi-Fi接続が一時的に切断され、Wi-Fi接続が確立するまでに約1分間*の時間がかかります。その間はネットワークに接続できません。

本端末に接続しているWi-Fi対応機器との接続も切断されますので、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作を行ってください。

5GHzから2.4GHzに切り替えるときは、DFSチェックは作動せず、ネットワーク接続は切断されません。




※ DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

国際ローミングに対応しています。







海外でもLTE／3Gネットワークを利用して、データの送受信ができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 以下の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 以下の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

- 「安全上のご注意」は、以下の項目に分けて説明しています。

1.本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、Micro SIMカードの取り扱いについて（共通）.....	7
2.本端末の取り扱いについて.....	7
3.電池パックの取り扱いについて.....	8
4.アダプタ、USB接続ケーブルの取り扱いについて.....	9
5.Micro SIMカードの取り扱いについて.....	10
6.医用電気機器近くでの取り扱いについて.....	10
7.材質一覧.....	11

1.本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、Micro SIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

本端末に使用するオプション品は、HUAWEIが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告



禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままどと異なるときは、直ちに以下の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
 - ・本端末の電源を切る。
 - ・電池パックを本端末から取り外す。
- 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けが、感電の原因となります。



指示

本端末をアダプタやUSB

接続ケーブルでパソコンなどに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながら長時間連続で使用すると、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

本端末内のMicro SIMカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切ってください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください！電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、タッチパネル部を破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

タッチパネル部は、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

誤ってタッチパネルを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.11「7.材質一覧」



指示

タッチパネルを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険



禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告



落下などによる変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

アダプタのコードやUSB接続ケーブルの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

本端末やアダプタやUSB接続ケーブルを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードやUSB接続ケーブル、充電端子、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用するると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

海外で使用可能なACアダプタ：

AC100V～240V

(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

本端末とアダプタやUSB接続ケーブルを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

4. アダプタ、USB接続ケーブルの取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

アダプタのコードやUSB接続ケーブルが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

ACアダプタやUSB接続ケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタやUSB接続ケーブルには触れないでください。

感電の原因となります。



電源プラグ
を抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

⚠ 注意

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

5. Micro SIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意



指示

Micro SIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7.材質一覧

	使用箇所	使用材料・表面処理
本体	フロントパネル	ガラス・フィルム
	外装ケース (パネル面)	PC+10%GF・塗装
	電源キー	PC+10%GF+TPU・塗装
	RESETボタン	PC
	外装ケース (電池面)	PC+30%GF
	リアカバー	PC+10%GF・塗装
	ネジ	カーボンスチール・黒亜鉛メッキ
	銘板シール	ポリエステル
	電池スロット底面 金属部	アルミニウム合金
	Micro SIMカード スロット (端子部)	LCP、リン酸銅・金メッキ、 ニッケルメッキ、スズメッキ
	Micro SIMカード スロット (スロットカバー)	ステンレススチール
AC アダプタ	電池バック接続端子	チタン銅合金・ニッケル+ 金メッキ
	外部接続端子	ステンレススチール、 LCP、銅・パラジウム+ニッケルメッキ、金メッキ
	外装ケース	PC+ABS
USB接続 ケーブル	ACプラグ	黄銅+電解銅・ニッケルメッキ
	USB端子	黄銅・ニッケルメッキ
	プラグ	TPE
	ケーブル部	TPE
	microUSB端子	ステンレススチール・ニッケルメッキ
	microUSB端子 (端子部)	PBT+30%GF、 LCP+30%GF、銅合金
	USB端子	SPCC・銅メッキ+ニッケルメッキ
電池 バック	USB端子 (端子部)	PBT+30%GF、銅合金
	本体	PC
	ラベル	PET
	端子	銅・金メッキ、ニッケルメッキ
	水濡れシール	水溶性紙、塗装・OPPフィルム



取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水をかけないでください。
本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、Micro SIMカードは防水性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 乾いた布などで強く擦ると、タッチパネルに傷がつく場合があります。
 - ・ タッチパネルに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとタッチパネル、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- タッチパネルは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

本端末についてのごお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は0℃～35℃、湿度は5%～95%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（0℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、以下の点にご注意ください。
 - ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

アダプタ、USB接続ケーブルについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（0℃～35℃）の場所で行ってください。
- 以下のような場所では、充電しないでください。
 - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ、が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth[®]機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは以下のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4

- 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- FH1 : 変調方式がFH-SS方式であること、および想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- DS4/OF4 : 変調方式がDS-SS、OFDMであること、および想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ■ ■ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。航空機内での利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

- 本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、コールセンターにお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) について のお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。


- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

●2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで利用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。


1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに利用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、コールセンターにお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、コールセンターにお問い合わせください。

●5GHz機器使用上の注意事項

- ・ご使用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。本端末では、Wi-Fi 5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続することはできません。ご使用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご使用ください。
- ・Wi-Fi 5GHz帯は電波法により、W56のチャンネルは屋外でご利用になれますが、W52/W53のチャンネルは屋外での利用が禁止されています。画面にが表示されている際には屋内でご使用ください。
- ・Wi-Fi 5GHz帯のW53/W56利用時は気象レーダーなどとの電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する場合があります。その場合通信が一時的に切断されます。（DFS機能）

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用する場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の銘板シールに表示されています。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

- データ通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - タッチパネル部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをHUAWEI純正品以外のものに交換するなど
 - ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手順をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用 のMACアドレス および Bluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の以下の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：タッチパネル上部
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにコールセンターにご連絡ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

防塵性能

本端末は、リアカバーをしっかりと取り付け、完全に装着している状態でIP5X^{*}の防塵性能を有しています。

※ IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75 μ m以下の塵埃（じんあい）が入った装置に本端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに本端末の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

ご使用にあたって

- ご使用前にリアカバーをしっかりと取り付け、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると、粉塵の侵入の原因となります。
- 外部接続端子に埃が入った場合は、取り除いてご使用ください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

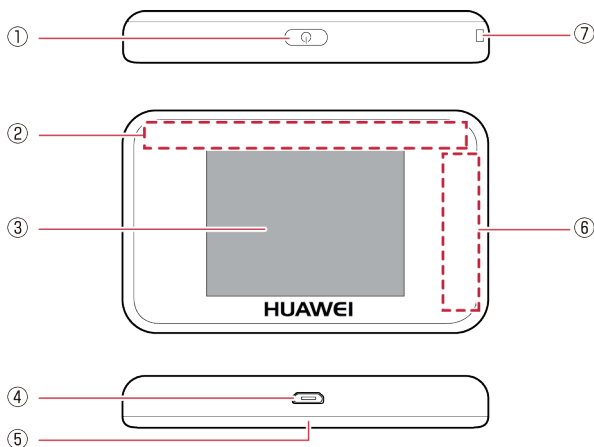
ご使用前の確認

各部の名称と機能.....	18
Micro SIMカードを使う.....	19
電池パックの取り付けかた／取り外しかた.....	22
充電する.....	24
電源を入れる／切る.....	28
画面の見かた.....	29
タッチパネルの使いかた.....	31
英数字と記号の入力.....	32



各部の名称と機能

■ 本体



① 電源キー

- 電源を入れたり切ったりします。→P.28
- 電源を入れると、Wi-Fi機能がオンになります。

② Wi-Fiアンテナ

- アンテナは本体に内蔵されています。

③ タッチパネル（ディスプレイ）

- 本端末の状態を表示したり、各種操作を行ったりします。→P.29

④ 外部接続端子

- 充電時やパソコンとの接続時にUSB接続ケーブルなどを接続します。→P.26、P.27

⑤ リアカバー

⑥ アンテナ*

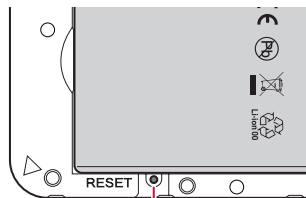
- アンテナは本体に内蔵されています。

⑦ ストラップ取り付け穴

- ストラップなどを取り付けます。

⑧ RESETボタン

- リアカバーを取り外すと、本端末の下部にあります。



- 本端末の電源がオンの状態で、5秒以上押し続けると、本端末の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
- Mobile WiFiからもリセットできます。詳しくは「リセット」(→P.106)をご覧ください。

※ 本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

Micro SIMカードを使う

Micro SIMカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、本端末に取り付けないと、データ通信を利用できません。Micro SIMカードの詳しい取り扱いについては、Micro SIMカードの取扱説明書をご覧ください。

- ・ 本端末ではMicro SIMカードのみご使用できます。

取り付けかた／取り外しかた

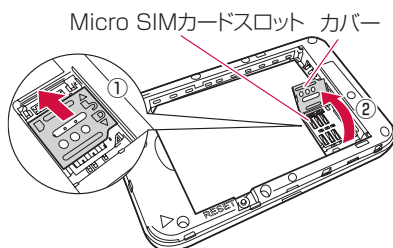
Micro SIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り（→P.28）、リアカバーと電池パックを取り外してから行います（→P.22）。

- ・ 本端末はUSB接続ケーブルに接続されているときは、先に取り外してください。

■ 取り付けかた

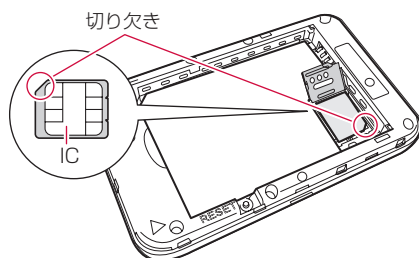
- 1 Micro SIMカードスロットのカバーを①の方向にカチッと音がするまで動かしてロックを解除し、②の方向に持ち上げる

- ・ カバーを動かしたり、持ち上げたりするときに、指先を傷つけないようにご注意ください。

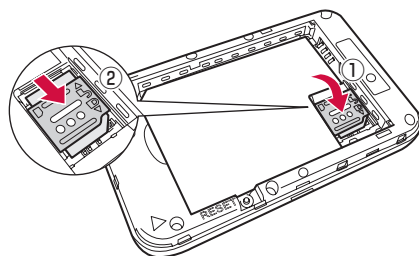


- 2 Micro SIMカードのIC面を下にして、Micro SIMカードスロットに取り付ける

- ・ 切り欠きの方向にご注意ください。
- ・ Micro SIMカードが正しく取り付けられているかご確認ください。

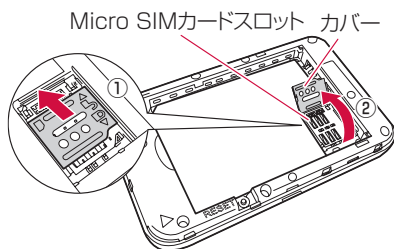


- 3 カバーを①の方向に軽く押し付けながら、②の方向にカチッと音がするまで動かしてロックする



■ 取り外しかた

- 1 Micro SIMカードスロットのカバーを①の方向にカチッと音がするまで動かしてロックを解除し、②の方向に持ち上げる



2 Micro SIMカードを取り外す

お知らせ

- 取り外したMicro SIMカードはなくさないようにご注意ください。
- Micro SIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないよう、ご注意ください。
- Micro SIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、Micro SIMカードが破損することがあります。

暗証番号

Micro SIMカードにはPIN1コードという暗証番号があります。PIN1コードは、第三者によるMicro SIMカードの無断使用を防ぐため、Micro SIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、端末操作が可能となります。

- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。
- 新しく本端末を購入されて、現在ご使用中のMicro SIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPIN1コードをご利用ください。

■ PIN1コードに関するご注意

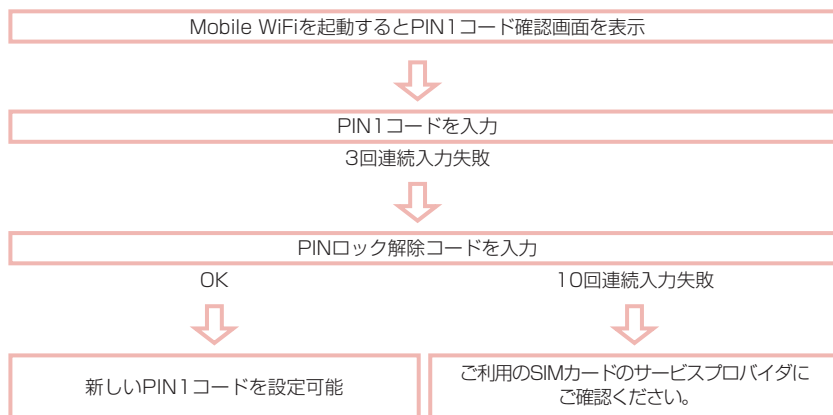
お客様ご自身で番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。

- 設定するPIN1コードは「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号は避けください。また、設定したPIN1コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- PIN1コードは、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一PIN1コードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PIN1コードを忘れてしまった場合はご利用のSIMカードのサービスプロバイダにご確認ください。
- PINロック解除コードは、ご利用のSIMカードのサービスプロバイダにご確認ください。

■ PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、Micro SIMカードがロックされます。その場合はご利用のSIMカードのサービスプロバイダにご確認ください。



電池パックの取り付けかた／取り外しかた

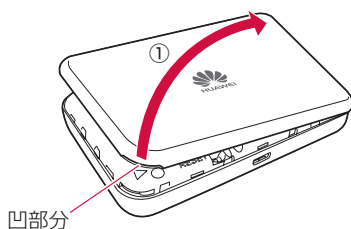
電池パックとリアカバーの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行います(→ P.28)。また、リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のタッチパネルなどが傷つかないように、手に持って行ってください。

- ・ 本端末専用の電池パック を使用してください。
- ・ 本端末にACアダプタやUSB接続ケーブルが接続されているときは、先に取り外してください。
- ・ 電池パックを取り外すときは、事前に電源をオフにしてください。故障の原因となります。

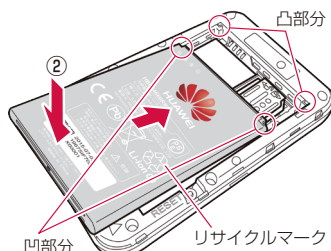
■ 取り付けかた

1 リアカバーの凹部分に指先をかけ、リアカバーを①の方向に持ち上げて取り外す

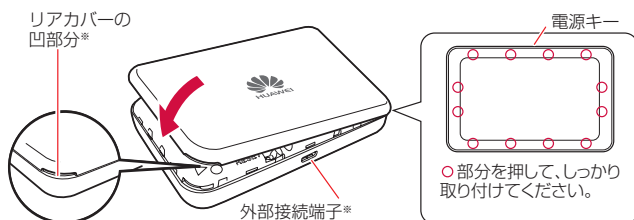
- ・ 指先を傷つけないようにご注意ください。



2 電池パックのリサイクルマークが印刷されている面を上にして、本端末の凸部分と電池パックの凹部分を合わせ、①の方向へ押し付けながら、②の方向へ押し込んで取り付ける



3 リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し、以下イラスト内の○部分をしっかりと押しながらすき間がないように取り付ける

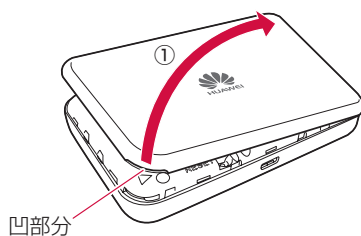


※外部接続端子とリアカバーの凹部分の位置を確認し、本端末とリアカバーを正しい向きで取り付けているかを確認してください。

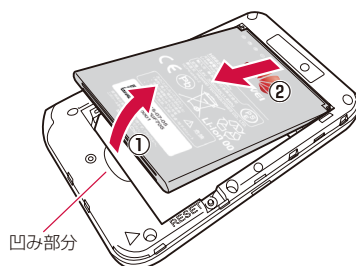
■ 取り外しかた

- 1** リアカバーの凹部分に指先をかけ、リアカバーを①の方向に持ち上げて取り外す

・ 指先を傷つけないようにご注意ください。



- 2** 本端末の凹みの部分を利用して電池パックを①の方向へ持ち上げて、②の方向へ取り外す



充電する

本端末専用の電池パック を使用してください。

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。はじめてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。

■ 充電について

- コネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを取り外さないでください。
- 電池パック単体では充電できません。必ず本端末に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 使用していない状態でも電池パックは放電します。長期間使用しなかった場合は、充電してから使用してください。

■ 電池パックの充電時間／使用時間の目安

- 充電完了までの時間は、周囲の温度や電池パックの使用期間などによって異なります。
- 連続待受時間、連続通信時間は、使用環境や電波状況などにより変動します。
- 電池パックの充電時間／使用時間の目安については、「主な仕様」（→P.151）をご覧ください。

■ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックの使用可能時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。正しい手順で電池パックを充電しても使用可能時間が短い場合は、指定の新しい電池パックに交換してください。



Li-ion00

■ ACアダプタについて

- 詳しくは、ご使用になるACアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタはAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は、行わないでください。

■ 電池残量の確認のしかた

- 電池パックの電池残量は、タッチパネル上部の電池残量表示で確認できます。→P.<30>

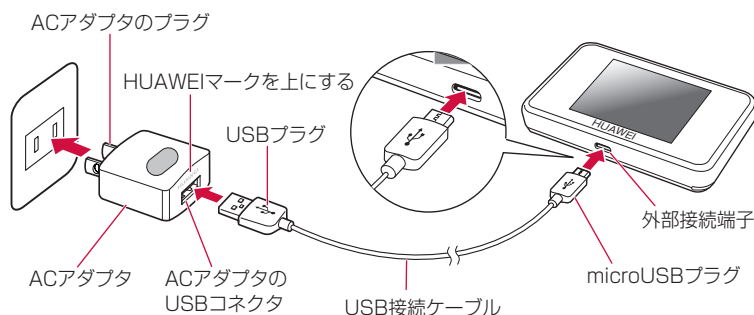
お知らせ

- 電源を切っている間でも、ACアダプタやパソコンに接続すると、充電中を示すアニメーションがタッチパネルに表示されます。充電が完了すると、アニメーションから充電完了を示す電池のアイコンに変わります。タッチパネルが消灯しているときは、電源キーを軽く押すと表示を確認できます。
-

ACアダプタで充電する

付属のACアダプタとUSB接続ケーブルを使って充電します。

- 1** USB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、本端末の外部接続端子にUSBマークを上にして水平に差し込む
- 2** USB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタのUSBコネクタにUSBマークを上にして水平に差し込む
- 3** ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
- 4** 充電が完了したら、ACアダプタのプラグをコンセントから抜く
- 5** USB接続ケーブルを本端末とACアダプタから水平に抜く



パソコンに接続して充電する

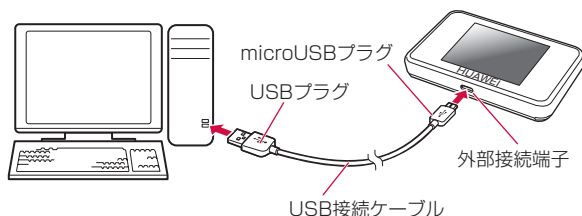
付属のUSB接続ケーブルを使ってパソコンと接続すると、本端末をパソコンで充電できます。

- 本端末を初めてパソコンに接続したときは、デバイスドライバのインストーラーが自動的に起動します。デバイスドライバをインストールしなくても充電は可能です。→P.<57>、P.<65>
- 本端末の初期設定では、USBテザリングが有効になっているため、パソコンに接続すると自動的にインターネットに接続されます。パケット通信（課金対象）が発生しますのでご注意ください。

1 USB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、本端末の外部接続端子にUSBマークを上にして水平に差し込む

2 USB接続ケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSBポートに接続する

- USBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。



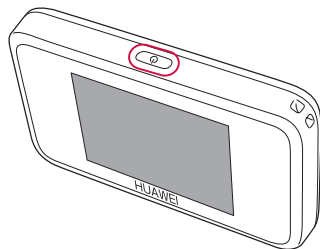
電源を入れる／切る

電源を入れる


1 を約2秒間押し続ける

Wi-Fi機能が自動的にオンになり、ロック画面が表示されます。

- タッチパネルで本端末を操作するときは、ロック画面をフリックすることでホーム画面が表示されます。
- パスコードを設定しているときは、ロック画面に続き、パスコード入力画面が表示されるので、パスコードを入力してください。



お知らせ

- Micro SIMカードにPIN1コード認証が有効に設定されている場合には、本端末の電源を入れたときPIN1コードの入力が必要になります。
- 電源を入れた後、本端末を約15秒操作しないと、タッチパネルの表示が消えます。を押すと、タッチパネルを表示します。
- すでに接続の設定をしたあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにするだけで、自動的に接続が再開されます。

電源を切る

1 を約2秒間押し続ける

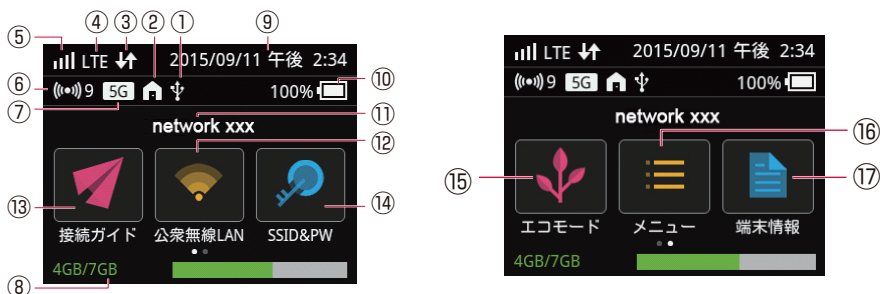
2 「電源を切る」をタップ

- 「再起動」をタップすると、本端末を再起動できます。

お知らせ

- 本端末の電源を切ると、Wi-Fi対応機器との接続が自動的に切れます。

画面の見かた



① USB接続中アイコン

パソコンとUSB接続ケーブルで接続中に表示されます。

② 屋内使用アイコンでのネットワーク接続中アイコン

- ・ : Wi-Fi 5GHz帯で接続中に表示されることがあります。
このアイコンが点灯しているときは、屋内でご使用ください。
- ・ 点灯: Wi-Fi 5GHzのW52またはW53チャンネルで接続中
- ・ 消灯: Wi-Fi 5GHzのW56チャンネルまたはWi-Fi 2.4GHzで接続中
DFSチェック中は **DFS** が点滅します。→P.5

③ インターネット接続アイコン

- ・ : インターネット接続中 (送信中)
- ・ : インターネット接続中 (受信中)
- ・ : インターネット接続中 (送受信中)
- ・ : インターネット接続中で通信が行われていない場合
- ・ : 本端末が高温になり温度を下げる必要があるので、通信速度を抑えるときに表示されます。→P.147
- ・ : 本端末が高温になり温度を下げる必要があるので、インターネット接続が切断されているときに表示されます。→P.147

④ 接続中のネットワークの種類

接続中のネットワークの種類 (「LTE」 / 「3G」 / 公衆無線LAN) が表示されます。
ローミング中は、 のように受信レベル表示の左上に「R」が表示されます。
公衆無線LANに接続中は以下のアイコンが表示されます。

- ・ : 受信レベル「強」 ⇄ 「弱」

⑤ 受信レベルアイコン

- ・ : 受信レベル「強」 ⇄ 「弱」
- ・ : 圏外 / Micro SIMカード未挿入 / 無効なMicro SIMカード

⑥ Wi-Fi機能アイコン / 接続台数表示

- ・ : Wi-Fi機能がオンになっているときに表示されます。
右側の数字は、本端末に接続中のWi-Fi対応機器の台数です。

⑦ 周波数帯アイコン

利用している周波数帯が表示されます。

- ・「2.4G」：Wi-Fi 2.4GHz帯を利用中
- ・「5G」：Wi-Fi 5GHz帯を利用中

⑧ データ通信量／最大データ通信量表示








利用したデータ通信量と、最大データ通信量が表示されます。→P.85、P.130

⑨ 日付・時刻表示

日付と時刻が表示されます。

⑩ 電池残量表示

電池残量が数字とアイコンで表示されます。

- ・ ⇄ ：電池残量「多い」⇄「少ない」
- ・：電池残量がほとんどありません。直ちに充電してください。→P.24
- ・ ⇒  ⇒  ⇒ ：充電中

⑪ 接続中のネットワーク名表示

接続中のネットワーク名が表示されます。

⑫ 公衆無線LANのオン／オフ

タップすると公衆無線LANをオン／オフできます。

⑬ 接続ガイド

画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。

⑭ SSID&PW

SSIDとパスワードを設定できます。

⑮ エコモード

画面の明るさ、画面の点灯時間などを設定できます。


⑯ メニュー

タップすると本端末の各種設定を変更できます。→P.114

⑰ 端末情報

本端末の情報を確認できます。

お知らせ

- ・本端末を約60秒操作しないと、タッチパネルの表示が消え、本端末が省電力状態になります。再度タッチパネルを点灯させるには、を押してください。画面点灯時間は、設定によって変更できます。→P.118



タッチパネルの使いかた

本端末は指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

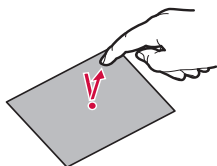


タッチパネルをご使用になる前に

本端末は静電気を使って指の動作を感知することで、タッチパネルを操作する仕様となっています。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作

■タップ



項目やアイコンに軽く触れて指を離します。

■フリック



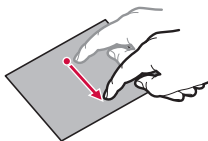
タッチパネルを指ですばやくはらうように操作します。

■スライド（スワイプ）



タッチパネルに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

■ドラッグ



アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

英数字と記号の入力

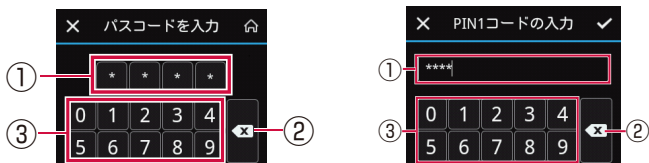
■ 英数記号キーボード



- ① 入力欄です。カーソルの位置に文字が入力されます。カーソルはタップまたはドラッグして移動できます。パスワードなどの場合は、入力した文字が「*」で表示されることがあります。
- ② カーソルの左側にある文字を削除します。
- ③ 文字を入力するキーボードです。左右にドラッグすると表示されていない文字を表示できます。
- ④ スペース（空白）を入力します。
- ⑤ 入力する文字種を切り替えます。

- **123** : 数字入力
- **a/A** : 英字入力（タップするたびに大文字／小文字が切り替わります）
- **!#\$** : 記号入力

■ 数字キーボード



- ① 入力欄です。タップした文字が左側から順番に、またはカーソルの位置に入力されます。パスワードなどの場合は、入力した文字が「*」で表示されることがあります。
- ② 右側の文字から順番に、またはカーソルの左側にある文字を削除します。
- ③ 文字を入力するキーボードです。

セットアップ

セットアップについて	34
USB接続ケーブルで接続／通信する	55

セットアップについて

本端末と通信を行う機器との接続は、Wi-Fi機能を使う方法、USB接続ケーブルを使う方法があります。接続方法ごとの説明をご覧ください、セットアップを進めてください。

いったん設定したあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにするだけで、自動的に接続されます。

■ Wi-Fi接続でデータの送受信を行う場合

本端末はWi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで）接続できます。

ネットワークやセキュリティの設定などを変更する場合は、Mobile WiFiをご利用ください。

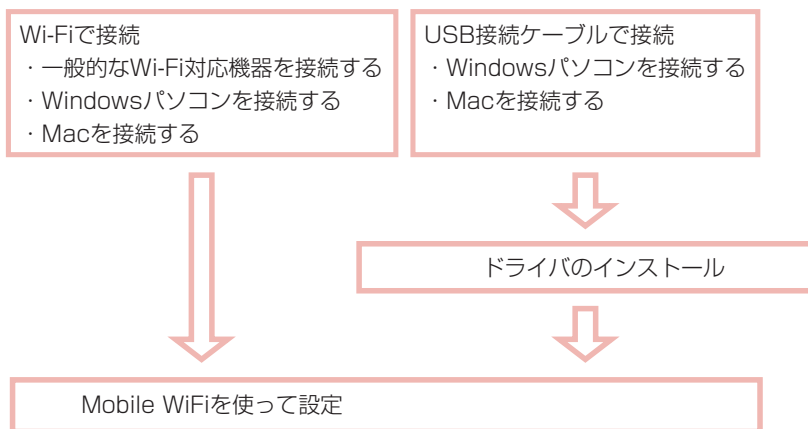
→P.70

■ USB接続ケーブルで接続してデータの送受信を行う場合

パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。この場合、本端末をパソコンに認識させるため、ドライバのインストールが必要です。→P.57、P.65

USB接続ケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器を同時に10台まで（公衆無線LAN利用時は9台まで）接続できます。

セットアップの流れ



セットアップに必要な情報について

本端末にWi-Fi対応機器を接続するとき、以下の情報が必要になります。付属の無線LAN初期設定シールと、銘板シールに、本端末の初期設定値が記載されておりますので、必要に応じてご確認ください。また、本端末のタッチパネルに情報を表示することもできます。→P.131

- SSID

ネットワーク上での本端末の名前です。

SSID:HUAWEI-XXXX (MACアドレス下4桁)

- パスワード (セキュリティキー)

本端末のタッチパネルには「パスワード」と表示されます。

Wi-Fi対応機器によっては、「パスワード」は「Wi-Fiパスワード」、「セキュリティキー」のように表記されている場合もありますが同じことを意味します。

- ・ 付属の無線LAN初期設定シールは、大切に保管してください。
- ・ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているSSID、およびパスワード (セキュリティキー) を変更してお使いになるようおすすめします。

対応機器を確認する

本端末が対応する機器について説明します。対応機器の最新情報については、HUAWEIのホームページをご確認ください。

お知らせ

- ・ パソコンは最新状態にして、お使いください。
- ・ USBハブ (モニターやキーボードなどにあるUSBポート含む) を経由しての動作は保証いたしかねます。
- ・ お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また対応の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせ、および、動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Wi-Fi接続できる機器について

無線LAN規格IEEE802.11a/n/ac (5GHz帯)、IEEE802.11b/g/n (2.4GHz帯) に対応しているWi-Fi対応機器と接続できます。

お知らせ

- ・ 本端末は、Wi-Fi対応機器に合わせて無線LAN規格IEEE802.11a/n/ac (5GHz)、IEEE802.11b/g/n (2.4GHz) を自動的に選択します。
- ・ Wi-Fi対応機器の動作や操作方法などについては、提供元メーカーにお問い合わせください。

■ USBテザリングできる機器について

対応しているOSは以下のとおりとなります。

- Windows 10 (32ビット／64ビット)
- Windows 8.1[※] (32ビット／64ビット)
- Windows 8[※] (32ビット／64ビット)
- Windows 7 SP1 (32ビット／64ビット)
- Windows Vista SP2 (32ビット／64ビット)
- Mac OS X 10.10 (64ビット)
- Mac OS X 10.9.5 (64ビット)
- Mac OS X 10.8.5 (64ビット)
- Mac OS X 10.7.5 (32ビット／64ビット)

※ Windows RTは非対応となります。

お知らせ

- USBテザリング中に本端末は充電されます。
-

■ 本端末の設定を変更できる機器について

対応しているOS^{※1}は以下のとおりとなります。

- Windows 10 (32ビット／64ビット)
- Windows 8.1^{※2} (32ビット／64ビット)
- Windows 8^{※2} (32ビット／64ビット)
- Windows 7 SP1 (32ビット／64ビット)
- Windows Vista SP2 (32ビット／64ビット)
- Mac OS X 10.10 (64ビット)
- Mac OS X 10.9.5 (64ビット)
- Mac OS X 10.8.5 (64ビット)
- Mac OS X 10.7.5 (32ビット／64ビット)
- Android
- iOS

※1 対応OSは日本語版となります。OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

※2 Windows RTは非対応となります。

一般的なWi-Fi対応機器を接続する

ここでは、各種ゲーム機や携帯端末などの一般的なWi-Fi対応機器を例にして説明します。

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているWi-Fi対応機器であれば、接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.88

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 📶 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると 📶 が表示されます。

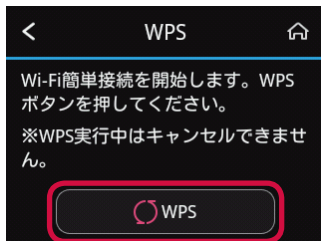
2 Wi-Fi対応機器の接続設定画面を表示し、必要に応じてWPS接続の準備操作を行う

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

3 本端末のホーム画面で「メニュー」→「WPS」をタップ



4 「WPS」 ボタンをタップ



5 Wi-Fi対応機器のWPSボタンを押す

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。

本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

お知らせ

- Wi-Fi対応機器がWPS機能のPINコード入力方式に対応している場合は、WPS PINコードを利用して接続することもできます。お使いのWi-Fi対応機器の操作方法については、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。本端末の設定は、Mobile WiFiを利用して行ってください。→P.76
- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 📶 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると 📶 が表示されます。

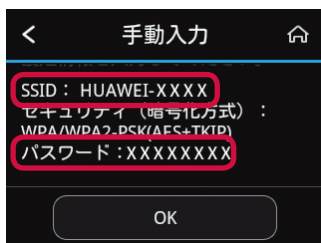
2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ

- ホーム画面に「接続ガイド」が表示されていない場合は、「メニュー」→「接続ガイド」をタップしてください。



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末の「SSID」と「パスワード」（セキュリティキー）が表示されます。



4 Wi-Fi対応機器の接続設定画面を表示する

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

5 アクセスポイントを検索する

- Wi-Fi対応機器でWi-Fi機能をオンにしたり、「アクセスポイントに接続」や「検索する」などのメニューを選択したりすると、近くにあるアクセスポイントが一覧表示されます。
- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

6 アクセスポイントの一覧から、本端末の「SSID」が表示されている項目を選択する

7 パスワード（セキュリティキー）を入力し、設定を保存する

- Wi-Fi対応機器によっては、暗号化方式の選択画面が表示されることがあります。本端末に設定しているセキュリティ方式（暗号化方式）を選択してください。→P.88

Windowsパソコンを接続する

ここでは、Windows 8.1とWindows 7の場合を例にして説明します。Windows Vistaを使用する場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

Windows 8.1 / 8

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能を利用して、接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P88

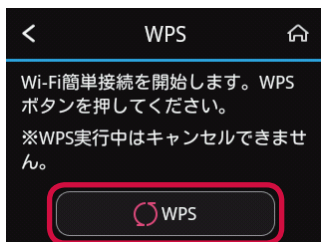
1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 📶 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると 📶 が表示されます。

2 本端末のホーム画面で「メニュー」→「WPS」をタップ



3 本端末の「WPS」ボタンをタップ



4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで ⚙️ （設定）をクリック

6 (利用可能) をクリック

7 本端末の「SSID」を選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック

- ・「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



- ・ パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。
 - ・ セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。



お知らせ

- ・ WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- ・ MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本端末の を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

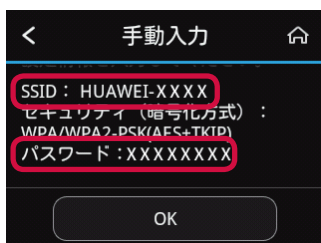
2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ

- ホーム画面に「接続ガイド」が表示されていない場合は、「メニュー」→「接続ガイド」をタップしてください。



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末の「SSID」と「パスワード」(セキュリティキー)が表示されます。

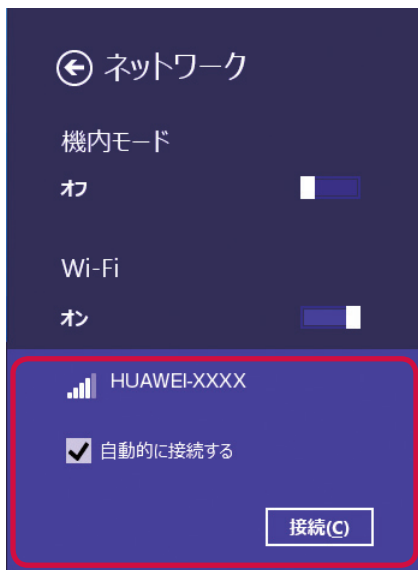


4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで⚙️(設定)をクリック

6 📶(利用可能)をクリック

- 7 本端末の「SSID」を選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック



- 8 パスワード（セキュリティキー）を入力し、「次へ」をクリック

- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。



■ Windows 7

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能を利用して、接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.88

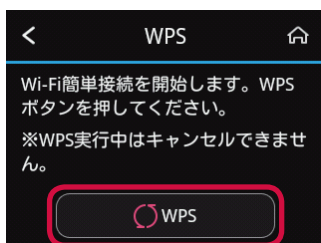
1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 📶 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると 📶 が表示されます。

2 本端末のホーム画面で「メニュー」→「WPS」をタップ



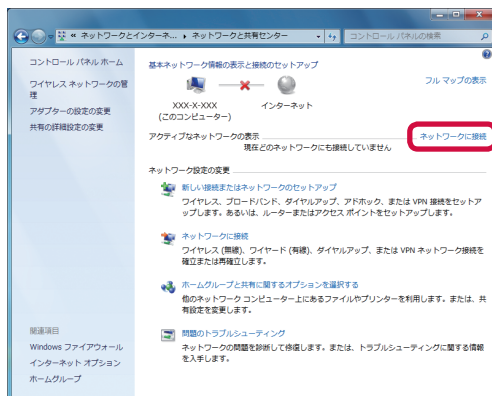
3 本端末の「WPS」ボタンをタップ



4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリック

6 「ネットワークに接続」をクリック



7 本端末の「SSID」を選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック

- ・「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。



- ・ セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

お知らせ

- ・ WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断されることがあります。
- ・ MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 📶 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると 📶 が表示されます。

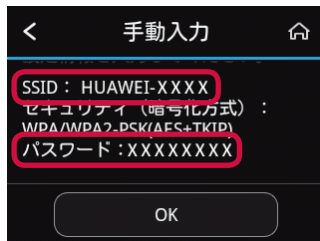
2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ

- ホーム画面に「接続ガイド」が表示されていない場合は、「メニュー」→「接続ガイド」をタップしてください。



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

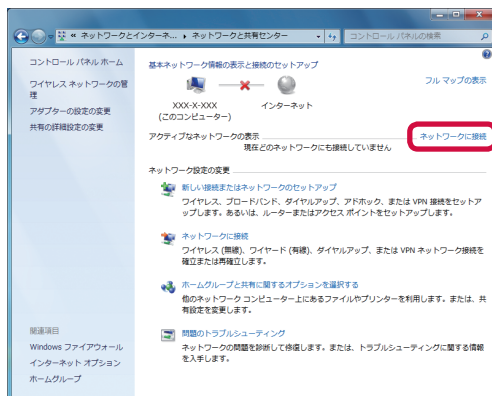
本端末の「SSID」と「パスワード」（セキュリティキー）が表示されます。



4 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

5 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリック

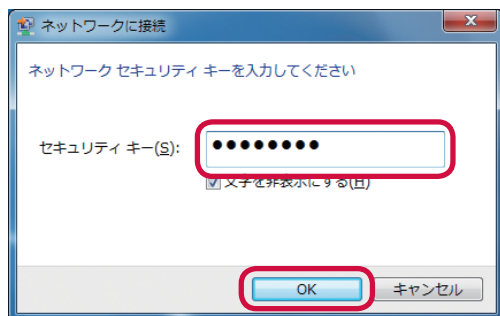
6 「ネットワークに接続」をクリック



7 本端末の「SSID」を選択し、「自動的に接続する」にチェックマークを付けて「接続」をクリック





8 パスワード（セキュリティキー）を入力し、「OK」をクリック



Macを接続する

ここでは、Mac OS X 10.10の場合を例にして説明します。

1 本端末のを約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

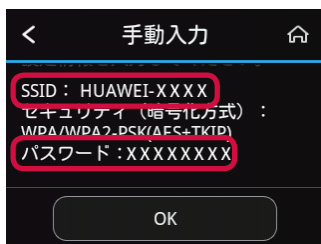
2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ

- ホーム画面に「接続ガイド」が表示されていない場合は、「メニュー」→「接続ガイド」をタップしてください。



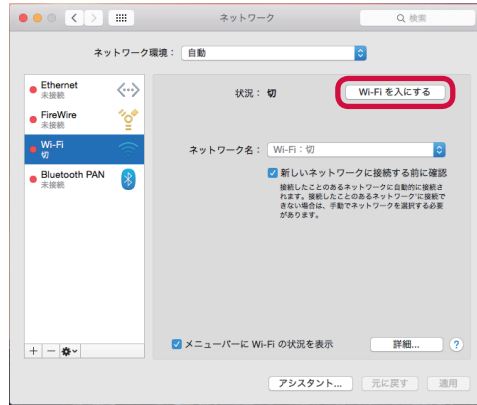
3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末の「SSID」と「パスワード」(セキュリティキー)が表示されます。



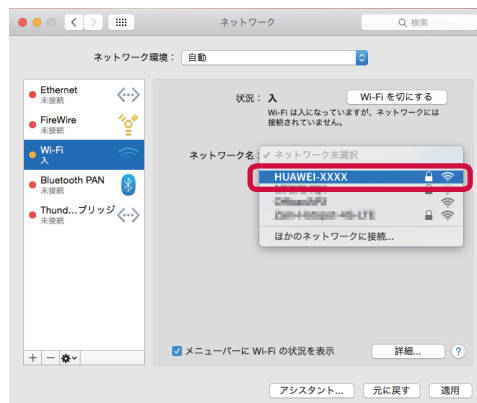
4 アップルメニューから「システム環境設定...」をクリックし、「ネットワーク」をクリック

5 「Wi-Fi」をクリックし、「Wi-Fiを入にする」をクリックしてWi-Fi機能をする

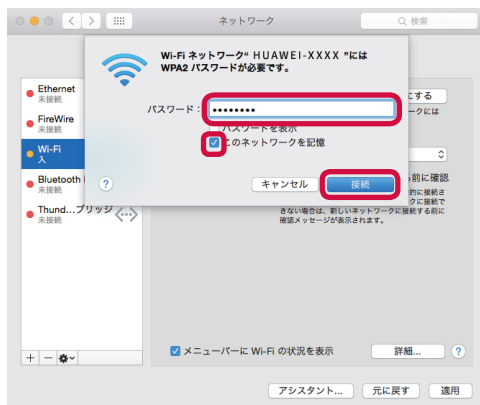


- ・「新しいネットワークに接続する前に確認」にチェックが入っていると、Wi-Fiを入にしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、「キャンセル」をクリックして「ネットワーク」の画面に戻ってください。

6 「ネットワーク名」のプルダウンリストから本端末の「SSID」を選択する



7 パスワード（セキュリティキー）を「パスワード」欄に入力し、「このネットワークを記憶」にチェックマークを付け、「接続」をクリック



Android™搭載端末を接続する

ここでは、Androidスマートフォン（Android 5.0）を使用した場合を例にして説明します。お使いのAndroid搭載端末、Androidのバージョンによって操作が異なります。詳しくは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

■ WPS機能を利用して接続する場合（自動接続）

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているAndroid搭載端末であれば、接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのAndroid搭載端末がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.88

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 📶 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると 📶 が表示されます。

2 Android搭載端末のアプリケーション一覧画面で「設定」→「Wi-Fi」をタップ

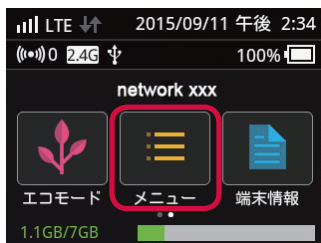
3 「Wi-Fi」の「OFF」をタップして「ON」にする

4 「簡単設定」をタップ

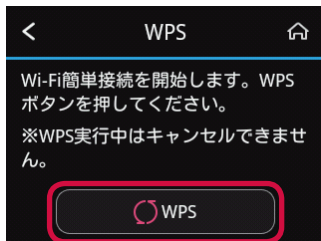
Wi-Fi簡単設定画面が表示されます。

5 「WPSプッシュボタン」をタップ

6 本端末のホーム画面で「メニュー」→「WPS」をタップ



7 「WPS」ボタンをタップ



- ・ セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
本端末のタッチパネルに「成功しました」と表示されたら設定完了です。

お知らせ

- ・ Android搭載端末がWPS機能のPINコード入力方式に対応している場合は、WPS PINコードを利用して接続することもできます。Android搭載端末の操作方法については、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。本端末の設定は、Mboile WiFiを利用して行ってください。→P.76
- ・ WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- ・ MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

■ アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）

お使いのAndroid搭載端末がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 📶 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると 📶 が表示されます。

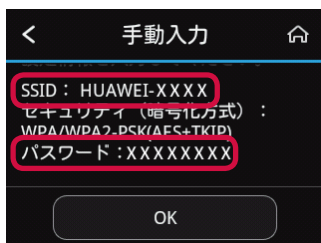
2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ

- ・ ホーム画面に「接続ガイド」が表示されていない場合は、「メニュー」→「接続ガイド」をタップしてください。



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末の「SSID」と「パスワード」（セキュリティキー）が表示されます。



4 Android搭載端末のアプリケーション一覧画面で「設定」→「Wi-Fi」をタップ

5 「Wi-Fi」の「OFF」をタップして「ON」にする

6 一覧画面から本端末の「SSID」が表示されている項目をタップ

7 パスワード（セキュリティキー）を正しく入力し、「接続」をタップ

画面右上にWi-Fiの電波アイコンが表示され、SSIDに「接続済み」が表示されたら設定完了です。

■ 本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合

Android搭載端末に「Huawei HiLink」アプリをインストールすることで、本端末のQRコード表示機能を使って表示したQRコードをアプリでスキャンして、自動的に本端末と接続できます。

- 本端末のQRコード表示機能を使ってAndroid搭載端末を接続するには、Android搭載端末にあらかじめ「Huawei HiLink」アプリをインストールしておく必要があります。
- 「Huawei HiLink」アプリはGoogle Play™からダウンロードしてください。

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 📶 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると 📶 が表示されます。

2 本端末のホーム画面で「メニュー」→「QRコード表示」をタップ

本端末のタッチパネルにQRコードが表示されます。

3 Android搭載端末のアプリケーション一覧画面で「Huawei HiLink」をタップ

- 初回起動時はアプリの紹介画面が表示されます。画面を右にスライドして、「開始」をタップしてください。

4 画面下のメニューを左にスライドして「スキャン」をタップ

QRコードのスキャン画面が表示されます。

5 Android搭載端末のカメラで、本端末のタッチパネルに表示されているQRコードを読み取る

- 確認画面などが表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

自動的にAndroid搭載端末が本端末と接続されます。

画面右上にWi-Fiの電波アイコンが表示されたら設定完了です。

- 各種設定をするためには、ログインが必要です。画面下の「ログインしていません。ここをクリックしてログインします。」をタップして、パスワードを入力してください。お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

お知らせ

- 「Huawei HiLink」以外のアプリで本端末のQRコードを読み取っても、自動で接続できません。必ず「Huawei HiLink」アプリをお使いください。
- QRコードを読み取っても自動で本端末と接続できないときは、「Android™搭載端末を接続する」の「アクセスポイントを検索して接続する場合（手動接続）」（→P.52）をご覧ください。

iPhone/iPod touch/iPadを接続する

ここでは、iPhone/iPod touch/iPad (iOS 8) を使用した場合を例にして説明します。

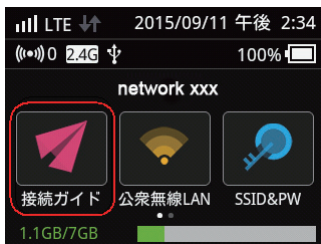
- 一度設定を完了すると、周囲に接続可能なアクセスポイントが存在するときは、設定済みのアクセスポイントへ自動的に接続されます。
- 登録済みのアクセスポイントが複数存在する場合は、最後に設定したアクセスポイントへ自動的に接続されます。

1 本端末の ⏻ を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 Wi-Fi が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると Wi-Fi が表示されます。

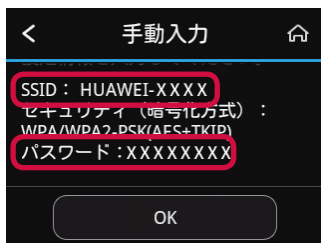
2 本端末のホーム画面で「接続ガイド」をタップ

- ホーム画面に「接続ガイド」が表示されていない場合は、「メニュー」→「接続ガイド」をタップしてください。



3 「次へ」→「手動入力」をタップ

本端末の「SSID」と「パスワード」(セキュリティキー)が表示されます。



4 iPhone/iPod touch/iPadのホーム画面から「設定」→「Wi-Fi」をタップ

5 「Wi-Fi」をオンにする

6 一覧画面から本端末の「SSID」が表示されている項目をタップ

7 パスワード(セキュリティキー)を正しく入力し、「Join」をタップ

画面左上にWi-Fiの電波アイコンが表示され、SSIDにチェックアイコンが表示されたら設定完了です。

USB接続ケーブルで接続／通信する

本端末は、付属のUSB接続ケーブルで直接パソコンに接続し、データの送受信ができます。

■ パソコンに本端末を取り付ける

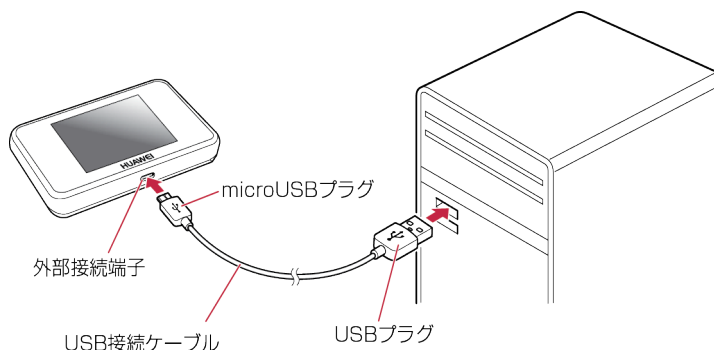
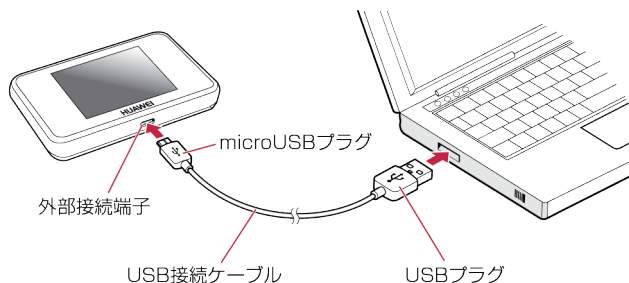
1 Micro SIMカードを取り付けた本端末の外部接続端子に、USB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして水平に差し込む

2 USB接続ケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSB端子に接続する



パソコンが本端末を認識します。本端末を認識するまで時間がかかることがあります。

- ・ 本端末を初めてUSB接続ケーブルで接続したときは、ドライバのインストールを行います。

→P.57、P.65



3 本端末の  を約2秒間押し続けて電源を入れる

Wi-Fi機能がオンになり、 が表示されます。お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると が表示されます。

■ パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

1 USB接続ケーブルを本端末とパソコンから水平に抜く

お知らせ

- データ通信中にUSB接続ケーブルをパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。
 - 本端末をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド／レジューム／スリープ）、または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本端末を取り外してスタンバイ、休止を行ってください。
 - 本端末を取り付けた状態で再起動したり、電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本端末を取り外してください。
-

Windowsパソコンを接続する

■ ドライバをインストールする

ドライバのインストールは、使用するパソコンに初めて接続するときのみ行います。画面表示や手順は、Windows 8.1でマウスを使用して操作した場合を例としています。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- ・ インストールを行うときは、OSが起動してからパソコンのUSB端子に本端末を取り付けてください。
- ・ インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ・ お使いのパソコンによっては、インストールに多少時間がかかることがあります。
- ・ インストールにはハードディスクの空き容量が100MB以上必要です（システム環境によって異なることがあります）。
- ・ データの送受信中には、インストールおよびアンインストールを行わないでください。
- ・ インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、常駐しているプログラムも終了させてください。
- ・ インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- ・ パソコン管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 本端末をパソコンに接続する

- ・ 「パソコンに本端末を取り付ける」（→P.55）をご覧ください。

3 デスクトップ画面右上に表示される「CD ドライブ (X:) Mobile WiFi」をクリック

- ・ CDドライブの種類（X）はお使いのパソコンの環境によって異なります。



4 「AutoRun.exeの実行」をクリック

Mobile WiFiのセットアップ画面が表示されます。

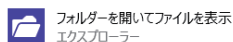
CD ドライブ (F:) MobileWiFi

このディスク に対して行う操作を選んでください。

メディアからのプログラムのインストール/実行



その他の選択肢



■ Mobile WiFiのセットアップ画面が表示されない場合

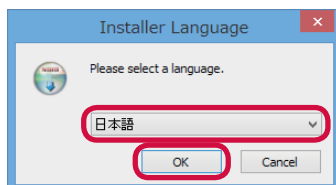
キーボードの「Windows」キーを押しながら「E」キーを押してエクスプローラー画面を表示させ、「CD ドライブ (X:) Mobile WiFi」をダブルクリックしてください。

- ・ CDドライブの種類 (X) はお使いのパソコンの環境によって異なります。

5 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」をクリック

- ・ Windows Vistaをお使いの場合は「続行」をクリックします。

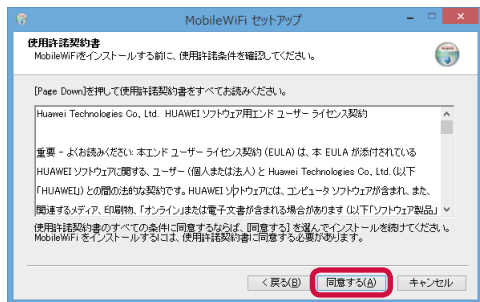
6 プルダウンリストから「Japanese (日本語)」を選んで「OK」をクリック



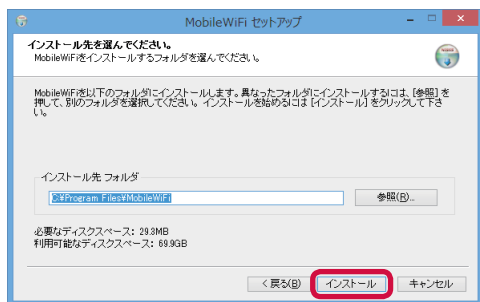
7 「次へ」をクリック



8 「使用許諾契約書」の内容を確認の上、「同意する」をクリック



9 インストール先フォルダを指定し、「インストール」をクリック



インストールが始まります。

10 「W-TCP機能を使用する(推奨)」のチェックが入っていることを確認し、「完了」をクリック



11 パソコンを再起動する

デスクトップにMobile WiFiのショートカットアイコンが表示されたら、インストールは完了です。


お知らせ

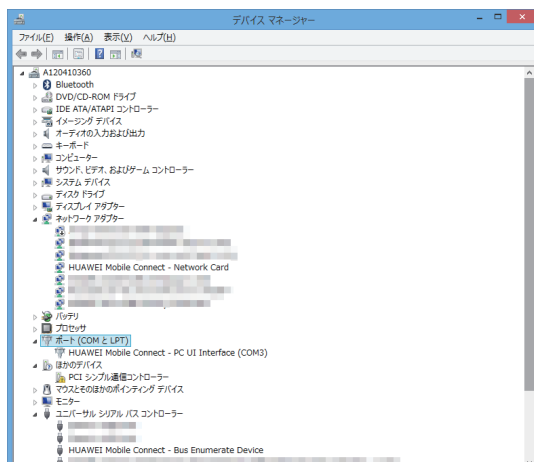
- 本端末のドライバは、Windowsストア対応ではないため、Windows 8.1／8をご使用の場合でも、インストール／アンインストールはデスクトップ画面で実行されます。また、インストール後のショートカットアイコンはデスクトップ画面にのみ表示されます。
-

■ 接続状況を確認する

本端末とパソコンが正しく接続されているかを確認します。

■ Windows 8.1／8をお使いの場合

- 1 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで （設定）をクリックする
- 2 「コントロールパネル」をクリックして「コントロールパネル」画面を表示する
- 3 「システムとセキュリティ」→システムの「デバイス マネージャー」の順にクリックする
- 4 以下のデバイスが表示されることを確認する
 - ・ ネットワーク アダプター：HUAWEI Mobile Connect - Network Card
 - ・ ポート（COM と LPT）：HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface(COMXX)
 - ・ ユニバーサル シリアル バス コントローラー：HUAWEI Mobile Connect - Bus Enumerate Device



■ Windows 7、Windows Vistaをお使いの場合

1 「スタート」メニューから「コンピューター」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする

- Windows Vistaの場合は「スタート」メニューから「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2 「デバイス マネージャー」をクリックする

- Windows Vistaの場合は「デバイス マネージャ」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたらWindows 7の場合は「はい」、Windows Vistaの場合は「続行」をクリックします。

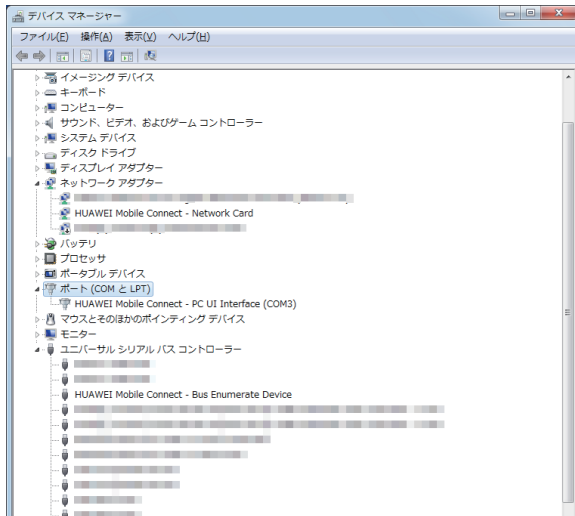
3 以下のデバイスが表示されることを確認する

- ネットワーク アダプター^{※1}：HUAWEI Mobile Connect - Network Card
- ポート (COM と LPT)：HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface(COMXX^{※2})
- ユニバーサル シリアル バス コントローラー^{※3}：HUAWEI Mobile Connect - Bus Enumerate Device

※ 1 Windows Vistaの場合は、ネットワーク アダプタと表示されます。

※ 2 COMポートの番号 (XX) はお使いのパソコンの環境によって異なります。


※ 3 Windows Vistaの場合はユニバーサル シリアル バス コントローラと表示されます。



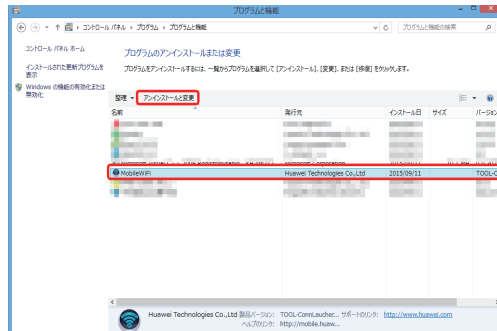
■ ドライバをアンインストールする

ドライバを削除する場合、本端末を取り外したあと、以下の手順で操作を行ってください。以降の画面と手順は、Windows 8.1でマウスを使用して操作した場合を例としています。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- ・ アンインストール作業は、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

1 デスクトップ画面左下の  マークを右クリックし、「プログラムと機能」をクリック

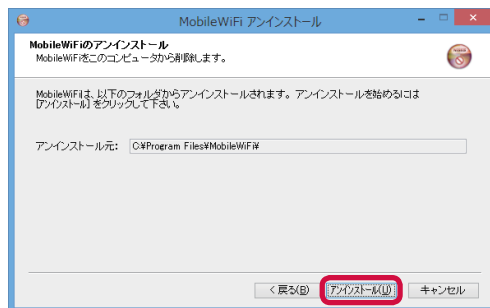
2 「Mobile WiFi」を選択して、「アンインストールと変更」をクリック



3 「次へ」をクリック



4 「アンインストール」をクリックして実行する



5 「W-TCP機能の最適化を解除する（推奨）」にチェックが入っていることを確認し、「完了」をクリック



これでアンインストールは完了です。

6 パソコンを再起動する

Macを接続する

■ ドライバをインストールする

ドライバのインストールは、使用するパソコンに初めて接続するときのみ行います。

画面表示や手順は、Mac OS X 10.10を例としています。→P. 48

- ・ インストールを行うときは、OSが起動してからパソコンのUSB端子に本端末を取り付けてください。
- ・ インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ・ お使いのパソコンによっては、インストールに多少時間がかかることがあります。
- ・ インストールにはハードディスクの空き容量が100MB以上必要です（システム環境によっては異なることがあります）。
- ・ データの送受信中には、インストールおよびアンインストールを行わないでください。
- ・ インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、常駐しているプログラムも終了させてください。
- ・ インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- ・ パソコン管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、アップル社にお問い合わせください。

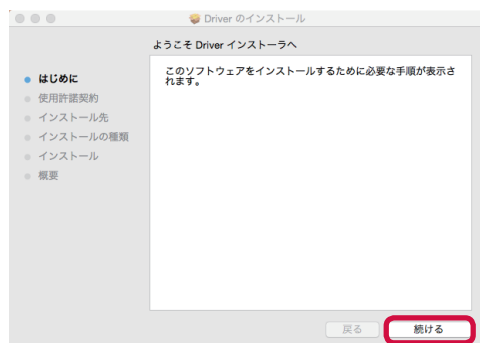
1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 本端末をパソコンに接続する

- ・ 「パソコンに本端末を取り付ける」（→P.55）をご覧ください、接続してください。
E5383s-327フォルダが自動的に開きます。

3 「E5383s-327_Driver」アイコンをダブルクリック

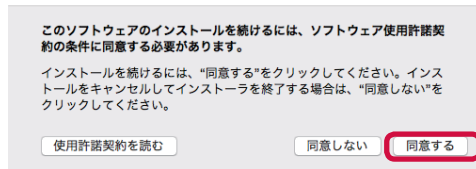
4 「続ける」をクリック



5「続ける」をクリック

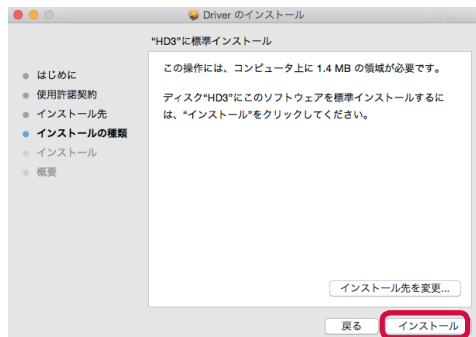


6「使用許諾契約」を読み「同意する」をクリック



- ・「インストール先の選択」画面が表示された場合は、インストール先を選択して、「続ける」をクリックしてください。

7「インストール」をクリック



8 パソコン管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力して「ソフトウェアをインストール」をクリック



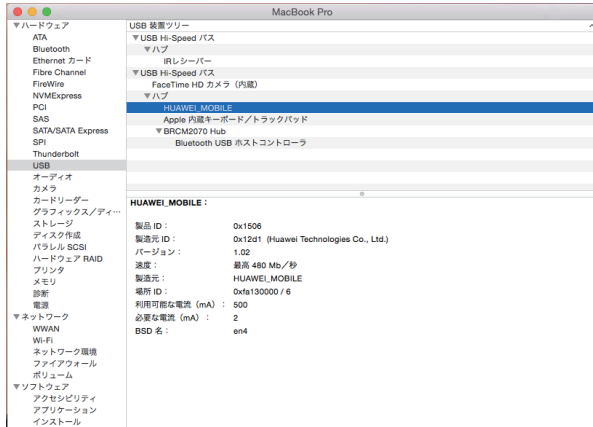
- ・「OK」をクリックするとインストールが始まります。

9 「インストールが完了しました」と表示されたら「閉じる」をクリック

■ 接続状況を確認する

本端末とパソコンが正しく接続されているかを確認します。

- 1 アップルメニューから「このMacについて」→「概要」タブの順にクリック
- 2 「システムレポート…」をクリック
- 3 「USB」の項目をクリックし、「HUAWEI MOBILE」が表示されていることを確認する




■ パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

■ ドライバをアンインストールする

ドライバを削除する場合、本端末を取り外したあと、以下の手順で操作を行ってください。

- 1  をクリックして、Finderの画面を表示する
- 2 「アプリケーション」をクリックする
- 3 「E5383s-327 Uninstall」をダブルクリックする
 - ・ 確認のメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックしてください。
- 4 パソコン管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリック

各種設定（Webブラウザ）

Mobile WiFiについて	70
E5383s-327の状態を確認する	75
各種機能の詳細設定をする	76
データ通信量を確認する	111
ソフトウェアの更新をする	113

Mobile WiFiについて

本端末にUSB接続ケーブルまたはWi-Fiで接続したパソコンおよび携帯端末から、Webブラウザを利用して本端末の各種機能を設定できます。

- Wi-Fiで接続したパソコンおよび携帯端末から、Mobile WiFiで「Wi-Fi設定」の設定内容を変更すると、Wi-Fiの接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンおよび携帯端末の設定変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。
- Mobile WiFiを同時に複数のパソコンおよび携帯端末で表示／設定できません。
- 本端末でも一部の機能を設定できます。→P.114
- 本端末でロック画面以外を表示中はMobile WiFiで設定できません。また、Mobile WiFiで設定中に本端末のタッチパネルを操作すると、Mobile WiFiでの設定が中断される場合があります。

対応するWebブラウザ

本端末は以下のWebブラウザに対応しています。

■ Windowsの場合

- Windows 7 SP1、Windows Vista SP2／32ビット・64ビット：Microsoft Internet Explorer 8 以上
- Windows 8.1、8／32ビット・64ビット：Microsoft Internet Explorer 10 以上
- Mozilla Firefox 25以上
- Google Chrome™

■ Mac OS Xの場合

- Safari 6以上
- Opera 12以上
- Mozilla Firefox 25以上
- Google Chrome™

■ Android搭載端末の場合

- ブラウザ 4以上
- Google Chrome™ 34以上

■ iPhone／iPod touch／iPadの場合

- Safari 7以上
- Google Chrome™ 34以上

Mobile WiFiを起動する

■ Windowsの場合

1 パソコンを起動し、本端末とWi-Fiで接続する

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」または「http://www.huaweimobilewifi.com」と入力

- ・ 本端末のお買い上げ時のプライベートIPアドレスは、「192.168.8.1」に設定されています。
- ・ 本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認できます。→P.131
ホーム画面が表示されます。

3 「ログイン」をクリック→パスワードを入力→「ログイン」をクリック

- ・ 大文字と小文字は正確に入力してください。
- ・ お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

■ 終了するには

Mobile WiFi画面で、「ログアウト」→「OK」をクリックします。

■ Macの場合

1 パソコンを起動し、本端末とWi-Fiで接続する

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」または「http://www.huaweimobilewifi.com」と入力

- ・ 本端末のお買い上げ時のプライベートIPアドレスは、「192.168.8.1」に設定されています。
- ・ 本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認できます。→P.131
ホーム画面が表示されます。

3 「ログイン」をクリック→パスワードを入力→「ログイン」をクリック

- ・ 大文字と小文字は正確に入力してください。
- ・ お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

■ 終了するには

Mobile WiFi画面で、「ログアウト」→「OK」をクリックします。

■ Android搭載端末／iPhone／iPod touch／iPadの場合

1 本端末とAndroid搭載端末／iPhone／iPod touch／iPadをWi-Fiで接続する

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://www.huaweimobilewifi.com」と入力

3 「ログイン」をタップ→パスワードを入力→「ログイン」をタップ

- ・ 大文字と小文字は正確に入力してください。
- ・ お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

■ 終了するには

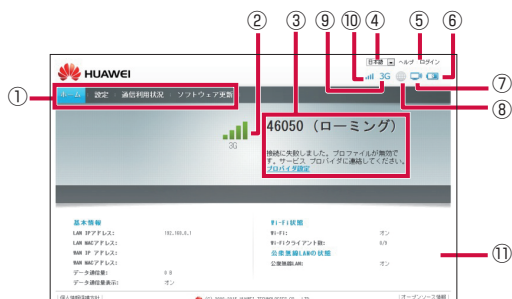
Mobile WiFi画面で、「ログアウト」→「OK」をタップします。

お知らせ

- ・ PIN1コード認証が有効になっている状態でMobile WiFiを起動すると、PIN1コード認証画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力し「適用」をクリックしてください。
 - ・ PIN1コード認証を無効にするには「PIN1コード管理」(→P.84)をご覧ください、設定を変更してください。
 - ・ セキュリティ保護のため、お買い上げ時のパスワードは変更することをおすすめします。変更方法については、「パスワードの変更」(→P.105)をご覧ください。
 - ・ Mobile WiFiのページ移動が15分間ない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。
 - ・ パソコンにドライバがインストールされている場合は、以下の方法でもMobile WiFiを起動できます。
 - Windowsの場合
デスクトップ上にある「Mobile WiFi」アイコンをダブルクリック
 - Macの場合
Dockにある「Mobile WiFi」アイコンをクリック
-

Mobile WiFi画面の見かた

手順はパソコンでの操作を例としています。



① メニューリスト

メニュー項目をクリックして、ページを切り替えます。

② 受信レベル表示

■インターネット接続の場合

• [信号強度アイコン] ⇄ [信号強度アイコン] : 受信レベル「強」⇄「弱」

■公衆無線LAN接続の場合

• [Wi-Fiアイコン] : 公衆無線LANに接続中

• [信号強度アイコン] ⇄ [信号強度アイコン] : 受信レベル「強」⇄「弱」

③ インターネット接続状態

接続中の通信事業者などの情報が表示されます。

「接続済」：インターネット接続中に表示されます。

「接続設定」：クリックすると、ネットワーク設定ができます。

④ English／日本語

表示言語を切り替えることができます。

⑤ ログイン／ログアウト

クリックしてMobile WiFiにログイン／ログアウトします。

⑥ 電池残量アイコン

電池残量が表示されます。

• [電池アイコン] ⇄ [電池アイコン] : 電池残量「多い」⇄「少ない」

• [電池アイコン] : 電池残量がほとんどありません。直ちに充電してください。

• [電池アイコン] ⇄ [電池アイコン] ⇄ [電池アイコン] ⇄ [電池アイコン] : 充電中

⑦ Wi-Fi機能アイコン

Wi-Fi機能がオンになっていることを表します。

⑧ インターネット接続アイコン


インターネットの接続状態が表示されます。

• 接続中：水色


• 未接続：グレー

⑨ ネットワークアイコン

接続中のネットワークの種類（「LTE」／「3G」）が表示されます。

公衆無線LANに接続中は、ネットワークの種類の右側に  が表示されます。

-  ⇄ ：受信レベル「強」⇄「弱」

Micro SIMカードが取り付けられていない、または無効になっている場合は、SIMカードアイコン（）が表示されます。

⑩ 受信アイコン

現在の受信レベルが表示されます。

-  ⇄ ：受信レベル「強」⇄「弱」

⑪ ホーム画面

各機能の設定／情報画面、またはアイコンメニューが表示されます。

E5383s-327の状態を確認する

インターネットへの接続状態、基本情報、Wi-Fiの状態、公衆無線LANの状態を確認できます。
手順はパソコンでの操作を例としています。

- ・ 事前にMobile WiFi画面を起動しておいてください。→P.71

1 メニューリストの「ホーム」をクリック





各種機能の詳細設定をする

インターネット接続、Wi-Fi機能など各種の詳細設定をMobile WiFi画面から操作できます。手順はパソコンでの操作を例としています。

- ・ 事前にMobile WiFi画面を起動しておいてください。→P.71

1 メニューリストの「設定」をクリック

設定画面が表示されます。



- ・ **クイック設定**
画面に表示される手順に従って、本端末を簡単に設定できます。→P.77
- ・ **プロバイダ設定**
プロファイル（接続設定）に関する設定をします。→P.79
- ・ **公衆無線LAN**
公衆無線LAN機能の設定をします。→P.81
- ・ **モバイルネットワーク**
PIN1コードの管理やネットワークに関する設定をします。→P.83
- ・ **Wi-Fi設定**
Wi-Fi機能に関する設定をします。→P.87
- ・ **ルータ設定**
セキュリティに関する設定をします。→P.94
- ・ **システム**
システムに関する設定をします。本端末の再起動も可能です。→P.104
- ・ **オープンソース情報**
本端末に含まれるソフトウェアのライセンス情報を確認できます。→P.110

2 設定する機能名をクリック

クイック設定

クイック設定ウィザードに従って本端末の設定を簡単に行うことができます。
設定項目の説明が画面に表示されるので、内容をよく確認して設定してください。

1 設定画面で「クイック設定」をクリック



2 「次へ」をクリック

3 Wi-Fi設定の構成を確認し、「次へ」をクリック

4 Wi-Fi設定の構成を設定し、「次へ」をクリック

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
SSID	ネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「_」「-」「 」、「(半角スペース)」※1	※2
SSIDブロードキャスト	SSIDブロードキャストの設定をします。	有効、無効※3	有効
セキュリティ (暗号化方式)	セキュリティおよび暗号化方式を選択します。	オープン (なし)、自動 (WEP)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)	WPA/ WPA2-PSK (AES+TKIP)
パスワード	使用するパスワードを指定します。「セキュリティ (暗号化方式)」で「WPA2-PSK (AES)」または「WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)」を選択しているときに表示されます。	最大64文字までの半角英数字と半角記号 (「_」、「 」、「:」、「\$」、「&」、「%」、「+」、「<」、「>」、「?」は除く)	※2
ネットワークキー	WEPキーを指定します。「セキュリティ (暗号化方式)」で「自動 (WEP)」を選択しているときに表示されます。	—	※2

※1 (半角スペース) は文頭には使用できません。

※2 お買い上げ時の設定については、付属の無線LAN初期設定シールと、銘板シールをご覧ください。

※3 SSIDブロードキャストを「無効」にして、使用しているパソコンおよび携帯端末から本端末のネットワークを切断すると、お使いの機器によってはそのままでは再接続できません。本端末のネットワークに再接続する場合は、アクセスポイントに手動設定で接続するか、USB接続ケーブルで本端末をパソコンに直接つないで、ネットワークに接続してください。

5 公衆無線LANを設定し、「次へ」をクリック

- ・ 事前に公衆無線LANを「オン」にしている場合に設定できます。→P.82

6 設定内容を確認し、「終了」をクリック

設定内容が適用され、ページの再読み込みが自動的に行われます。

プロバイダ設定

プロファイル（接続設定）を新規作成、編集、削除できます。
ここでは例として、プロファイルを新規作成する操作を説明します。

1 設定画面で「プロバイダ設定」をクリック



2 「新規プロファイル」をクリック

3 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「 」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」は除く）	—
APN名	APN（アクセスポイント名）を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「 」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」、「（半角スペース）」は除く）	—
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「 」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」は除く）	—
パスワード	パスワードを設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「 」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」は除く）	—
認証方式	認証方式を設定します。	自動、PAP、CHAP	自動
IPタイプ	IPタイプを設定します。	IPv4、IPv4&IPv6	IPv4

4「保存」をクリック

- 登録したプロファイルの設定で通信が開始されます。設定したプロファイルの内容により、パケット通信（課金対象）が発生しますのでご注意ください。

■ 利用するプロファイルを変更するには

「プロファイル名」から、利用したいプロファイルを選択します。APN名、ユーザー名、パスワード、認証方式、IPタイプが表示されます。

- 現在設定されているプロファイルには、プロファイル名の後ろに「(デフォルト)」が表示されます。

■ 既存のプロファイルを編集するには

「プロファイル名」から、編集するプロファイルを選択して、「編集」をクリックし、手順3以降を行います。

■ 削除するには

「プロファイル名」から削除するプロファイルを選択し、「削除」をクリックします。

公衆無線LAN

公衆無線LAN機能の設定をします。

1 設定画面で「公衆無線LAN」をクリック

「公衆無線LAN」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
設定	外出先で接続できるWi-Fiホットスポットや、自宅や会社の無線LANルータなどを使用して、Wi-Fiでインターネットに接続できます。	P.82
優先度	登録済みのアクセスポイントの優先度を設定します。	P.82

お知らせ

- 公衆無線LAN接続時に、本端末のIPアドレスと公衆無線LANのIPアドレスが競合した場合、本端末は自動的にIPアドレスを変更します。必要に応じてIPアドレスの再設定を行ってください。→P.93
- 本端末に設定されているIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認できます。→P.131

■ 設定

1 「オン」をクリック

公衆無線LAN機能が有効になります。

自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なアクセスポイント名が一覧で表示されます。

- ・「スキャン」をクリックすると、再度Wi-Fiネットワークのスキャンを開始します。
- ・公衆無線LAN機能が有効の状態で、「オフ」をクリックすると公衆無線LAN機能が無効になります。
- ・「オン」または「オフ」をクリックすると、ネットワークの変更のためにネットワークが切断され、本端末が再起動します。Wi-Fi対応機器との接続も切断されますので、ご注意ください（設定後にWi-Fi対応機器から再接続を行ってください）。

また、Mobile WiFiからログアウトされるため、Mobile WiFiの画面がホーム画面に自動的に戻らない場合は、Webブラウザを再起動してください。

2 接続したいアクセスポイント名の右側にある「接続」をクリック



- ・セキュリティで保護されたアクセスポイントに接続する場合は、接続に必要な情報を入力し、「接続」をクリックしてください。
- ・「ネットワークの追加」をクリックして、手動でアクセスポイントの追加／接続をすることもできます。
- ・アクセスポイントは最大16件登録できます。16件登録されている状態でアクセスポイントを追加すると、優先度の一番低いものが削除されます。

お知らせ

- ・設定をオンにすると、Wi-Fi接続がモバイルネットワークでの接続よりも優先されます。モバイルネットワークでの接続をするときは、オフにしてください。

■ 優先度

登録済みのアクセスポイントの優先度を設定します。

1 アクセスポイント名の右側にある「↑」「↓」をクリックして、順番を入れ替える

- ・「削除」をクリックして、アクセスポイントの設定を削除することもできます。

2 「適用」をクリック

モバイルネットワーク

PIN1コード管理やデータ通信量表示などの設定を変更できます。

1 設定画面で「モバイルネットワーク」をクリック

「モバイルネットワーク」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
PIN1コード管理	PIN1コード認証の有効／無効の設定、PIN1コードの変更ができます。	P.84
ネットワーク設定	接続するネットワークの優先度と検索方法を設定します。	P.85
データ通信量表示	通信量の合計、最大通信量を表示するかどうかを設定します。	P.85
最大データ通信量	最大データ通信量の目安を設定し、本端末のホーム画面に表示します。	P.85
通知設定	データ通信量の通知設定をします。	P.86

■ PIN1コード管理

PIN1コード認証の有効／無効の設定、PIN1コードの変更ができます。

■ PIN1コードを有効／無効に設定するには

1 「PIN1コード認証の設定」で「有効」／「無効」を選択する

2 「PIN1コード入力」に正しいPIN1コードを入力し、「適用」をクリック

■ PIN1コードを変更するには

1 「PIN1コード認証の設定」から「変更」を選択し、以下の項目を設定する

- ・ PIN1コードの変更は、PIN1コード認証が「有効」に設定されているときのみ行えます。

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
PIN1コード入力	現在設定されているPIN1コードを入力します。	4～8桁の数字	—
新PIN1コード入力	新しいPIN1コードを入力します。	4～8桁の数字	—
PIN1コード確認	確認のため、新しいPIN1コードを再入力します。	4～8桁の数字	—

2 「適用」をクリック

お知らせ

- ・ PIN1コード認証を有効に設定すると、本端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力する必要があります。
- ・ PIN1コード認証が有効になっている状態で、本端末でPIN1コードを入力する前にMobile WiFiを起動すると、PIN1コード認証画面が表示されます。PIN1コードを入力し「適用」をクリックしてください。
- ・ PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。
PIN1コードがロックされている状態でMobile WiFiを起動すると、PINロック解除コード（PUK）の認証画面が表示されます。PINロック解除コード（PUK）と新しいPIN1コードを入力し、「適用」をクリックしてください。→P.21

■ ネットワーク設定

接続できるネットワークの優先度と検索する方法を設定します。

- 優先モードを変更した場合や、ネットワークの検索中は、ネットワークから切断される（圏外になる）ことがあります。設定を変更するときには、ご注意ください。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
優先モード	優先で接続するネットワークの種類を選択します。	LTE/3G（自動）、3G	LTE/3G（自動）
検索モード	検索方法を選択します。	自動、手動	自動

2 「適用」をクリック

- 「ネットワーク検索」の「検索モード」で「手動」を選択した場合には、ネットワークリストが表示されます。利用可能なネットワークを選択し、「OK」をクリックします。

■ データ通信量表示

通信量の合計、最大通信量を表示するかどうかを設定します。

1 「オン」／「オフ」を選択する

- 初期値は「オン」です。

2 「適用」をクリック

■ 最大データ通信量

最大データ通信量の目安を設定し、本端末のホーム画面に表示します。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
E5383s-327のホーム画面に表示する最大データ通信量(GB)	本端末のホーム画面に表示する最大データ通信量の値を設定します。	0～99	0

2 「適用」をクリック

■ 通知設定

データ通信量の通知設定をします。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
データ通信量が設定値になったときに通知する	データ通信量が設定値になったときに通知するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
通知するデータ通信量	通知する場合のデータ通信量を、「最大データ通信量」で設定した値に対するパーセントで設定します。	1%～100%	90%

2 「適用」をクリック

Wi-Fi設定

Wi-Fi機能に関する詳細な設定ができます。

1 設定画面で「Wi-Fi設定」をクリック

「Wi-Fi設定」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
基本設定	Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。	P.88
詳細設定	Wi-Fiの詳細機能を設定できます。	P.89
WPS設定	WPS PINコードを利用してWPSのアクセス認証情報を確認できます。	P.91
MACアドレスフィルタ	Wi-Fi対応機器のMACアドレスを登録してWi-Fi接続の許可／禁止を設定し、セキュリティ機能を強化できます。	P.92
DHCP	LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。	P.93

■ 基本設定

Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。
- 本端末はWi-Fi対応機器を同時に10台*まで（公衆無線LAN利用時は9台まで）接続できます。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
SSID	ネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「_」「-」「.」「(半角スペース)」	※1
セキュリティ (暗号化方式)	セキュリティを選択します。「自動 (WEP)」を選択するとWEP暗号化方式として設定されます。	オープン (なし)、自動 (WEP)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)	WPA/ WPA2-PSK (AES+TKIP)
パスワード	使用するパスワードを指定します。「セキュリティ (暗号化方式)」で「WPA2-PSK (AES)」または「WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)」を選択しているときに表示されます。	最大64文字までの半角英数字と半角記号 (「_」、「-」、「:」、「.」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」は除く)	※1
ネットワークキー1～4	WEPキーを指定します。「セキュリティ (暗号化方式)」で「自動 (WEP)」を選択しているときに表示されます。	—	※1
現在のネットワークキー	規定値のWEPキーを設定します。「セキュリティ (暗号化方式)」で「自動 (WEP)」を選択しているときに表示されます。	ネットワークキー1～4	ネットワークキー1
APアイソレーション	オンにすると、同一のSSIDのWi-Fi対応機器間での通信を遮断します。	オン、オフ	オフ
SSIDブロードキャスト	SSIDブロードキャストの設定をします。	有効、無効※2	有効
パスワードの表示	チェックを入れると、パスワードおよびネットワークキーが表示されます。	オン、オフ	オフ

※1 お買い上げ時の設定については、付属の無線LAN初期設定シールと、銘板シールをご覧ください。

※2 SSIDブロードキャストを「無効」にして、使用しているパソコンおよび携帯端末から本端末のネットワークを切断すると、お使いの機器によってはそのままでは再接続できません。本端末のネットワークに再接続する場合は、アクセスポイントに手動設定で接続するか、USB接続ケーブルで本端末をパソコンに直接つないで、ネットワークに接続してください。

2 「適用」をクリック

設定内容が適用され、ページの再読み込みが自動的に行われます。

■ 詳細設定

Wi-Fiの詳細な設定ができます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。
- Wi-Fiに許容される通信速度やチャンネルなどの設定値は、国によって異なります。本端末を日本国外でお使いになる場合、正しい国名を設定して、各国の通信事情に十分注意してご使用ください。


1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
利用国判別	国名を自動で判別するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
国	国名を選択します。「利用国判別」で「無効」を選択しているときに設定できます。	(リスト項目)	日本
Wi-Fiモード	利用する周波数帯を設定します。	2.4GHz、5GHz ^{*1}	2.4GHz
チャンネル	利用チャンネルを選択します。	2.4GHz：自動、1～13 5GHz：自動、100～140	自動
ネットワークスリープ	Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にオフにするかどうかを設定します。	有効、無効	有効
スリープまでの時間（分）	ネットワークスリープが「有効」の場合に、Wi-Fi機能を自動的にオフにするまでの時間を設定します。	10、20、30	10
Wi-Fi帯域幅	Wi-Fiの通信帯域幅を選択します。	2.4GHz：20MHz、 20MHz/40MHz 5GHz：20MHz、 20MHz/40MHz/80MHz	20MHz
Wi-Fi MIMO	本端末に内蔵される複数のアンテナを組み合わせ使用し、通信速度や通信環境の改善ができます。通信速度が遅く感じる場合や、通信が不安定な場合に「使用する」に設定すると、通信状態が改善される場合があります。	使用する、使用しない	使用する

2 「適用」をクリック

設定内容が適用され、ページの再読み込みが自動的に行われます。

お知らせ

- ネットワークスリープを「有効」に設定しているときは以下の動作になります。
 - ACアダプタで充電中／パソコンなどに接続して充電中はWi-Fi機能はオフになりません。
 - Wi-Fi機能がオフになると、モバイルネットワークと公衆無線LANの接続もオフになります。
 - Wi-Fi機能がオフになったときは、を押したり、ACアダプタやパソコンなどに接続して充電を開始したりすると、Wi-Fi機能がオンになります。その後、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作をしてください。
 - 以下の場合は確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をクリックしてください。
 - Wi-Fiモードを「5GHz」に設定したとき。
 - Wi-Fi 5GHz帯を利用中に、ネットワークスリープを「有効」または「無効」に変更したとき。
 - Wi-Fi 5GHz帯を利用中に、ネットワークスリープの時間設定を変更したとき。「OK」をクリックすると本端末のタッチパネルにDFSチェック実行中のメッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
 - 「続ける」：メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
 - 「2.4GHzに変更する」：DFSチェックを中止してWi-Fi 2.4GHz帯で接続します。必要に応じてどちらかのボタンをタップしてください。「続ける」をタップするか、ボタンをタップせずに約1分間*経過するとDFSチェックが終了し、Wi-Fi 5GHz帯が利用可能になります。
- ※DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。
- ご使用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。本端末では、Wi-Fi 5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続できません。ご使用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご使用ください。
 - Micro SIMカードが未挿入、国際ローミング中、またはWi-Fiの利用国に日本以外の国が設定されている（→P.89）場合は、Wi-Fi 5GHz帯は選択できません。
-

■ WPS設定

WPS PINコードを利用して、WPS認証をします。

- WPS機能を利用するには、本端末のセキュリティ方式（暗号化方式）を「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」に設定する必要があります。また、SSIDブロードキャストが「有効」になっている必要があります。→P.88

1 WPS対応機器でWPS PINコードを表示

- WPS PINコードの表示方法は、お使いのWPS対応機器の取扱説明書などをご覧ください。

2 「WPS PIN」にWPS対応機器に表示されたWPS PINコードを入力し、「適用」をクリック

- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。

お知らせ

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
 - MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。
-

■ MACアドレスフィルタ

Wi-Fi対応機器のMACアドレスを登録してWi-Fi接続の許可／禁止を設定することで、セキュリティ機能を強化できます。

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みのWi-Fi対応機器で接続できなくなることがあります。その場合はWi-Fi対応機器の接続設定を変更してください。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
MACアドレスフィルタ	MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	無効、許可、拒否	無効
MACアドレス	接続を許可、または禁止するWi-Fi対応機器のMACアドレスを10個まで設定できます。	00～FFの10組の番号	(なし)

2 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

3 「OK」をクリック

設定内容が適用され、ページの再読み込みが自動的に行われます。

■ DHCP

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。

- ・「IPアドレス」と「開始IPアドレス」、「終了IPアドレス」には、同じサブネットワーク内のIPアドレスを指定してください。
- ・「終了IPアドレス」には、「開始IPアドレス」より大きいIPアドレスを指定してください。
- ・これらの設定を変更すると、Mobile WiFiが動作しなくなったり表示されなくなったりすることがあります。その場合には、パソコンを再起動したあと、正しいIPアドレスを指定してMobile WiFiを起動し直してください。
- ・「IPアドレス」または「サブネットマスク」を変更すると、「LAN IPフィルタ」「ポートマッピング」「DMZ設定」の設定変更が必要になる場合があります。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本端末のプライベートIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.8.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0～255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバ	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
開始IPアドレス	Wi-Fi対応機器に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.8.100
終了IPアドレス	Wi-Fi対応機器に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.8.200
DHCPリース時間(秒)	IPアドレスのリースタイムを設定します。	86400～604800	86400

2 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

3 「OK」をクリック

設定内容が適用され、本端末が自動的に再起動します。

- ・ 設定を続ける場合は、本端末の起動後もう一度ログインしてください。

ルータ設定

セキュリティに関する機能の設定ができます。

1 設定画面で「ルータ設定」をクリック

「ルータ設定」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
ファイアウォール スイッチ	ファイアウォール機能などを設定し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。	P.95
LAN IPフィルタ	フィルタを行うIPアドレスのリストを設定します。	P.96
ポートマッピング	インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるよう設定します。	P.98
特殊な アプリケーション	オンラインゲームやテレビ会議など、特殊なアプリケーションを利用できるように設定します。	P.100
DMZ設定	LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。	P.102
SIP ALG設定	SIPアプリケーションを利用したインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。	P.102
UPnP設定	UPnP対応のアプリケーションや周辺機器などを使用するときに設定します。	P.103
NAT設定	LAN内で利用しているプライベートIPアドレスをグローバルIPアドレスに変換して、インターネット接続できます。	P.103

■ ファイアウォール スイッチ

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。

ファイアウォールを有効にすると、インターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。

- ・ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。
- ・ファイアウォールを有効にすることで、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりする場合がありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避できます。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
ファイアウォールを有効にする	ファイアウォール機能を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
IPアドレス フィルタを有効にする	IPアドレスフィルタ機能を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
WANポートpingを無効にする	WAN側からのpingに対応するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

2 「適用」 をクリック

■ LAN IPフィルタ

設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスから、ファイアウォールを通過させるか判断します。最大16件まで登録できます。

- この機能を利用するには、「ファイアウォール スイッチ」の「IPアドレス フィルタを有効にする」をオンに設定しておく必要があります。→P.95

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
LAN IP アドレス	ルールを適用するLAN側（送信側） 端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号とワ イルドカードとして[*]**	(なし)
LAN ポート	ルールを適用するLAN側（送信側） ポート番号、またはポート番号の範 囲を設定します。	1～65535 範囲指定する場合は[-]で 連結	(なし)
WAN IP アドレス	ルールを適用するWAN側（送信先） 端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号とワ イルドカードとして[*]**	(なし)
WANポート	ルールを適用するWAN側（送信先） ポート番号、またはポート番号の範 囲を設定します。	1～65535 範囲指定する場合は[-]で 連結	(なし)
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択 します。	TCP/UDP、TCP、UDP、 ICMP	TCP/ UDP
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

※「*」を任意の文字列として以下のように使うことができます。

- 1 : *.*.*
- 2 : 10.*.*
- 3 : 10.10.*
- 4 : 10.10.10.*

LAN IPアドレスの場合は、同じサブネット内のIPアドレス範囲内でワイルドカードが適用されます。

<例>

本端末をお買い上げ時の状態でお使いの場合、LAN IPアドレスは「192.168.8.*」となります。DHCPのIPアドレスを「192.168.8.1」、サブネットマスクを「255.255.0.0」に設定した場合は、LAN IPアドレスは「192.168.*.*」となります。

3 「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- 「キャンセル」をクリックすると、入力した内容が削除されます。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「オプション」欄にある「OK」をクリック

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

ルールが削除されます。

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ ポートマッピング

インターネットからLAN内にある特定の端末にアクセスできるようにします。サーバやFTPを公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセージソフトなどを利用する場合に設定します。最大16件まで登録できます。

- この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、公開するサーバには、DHCPにて割り当てられない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。
→P.93
- セキュリティ対策などでポート番号の変換を行いたいときのみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを利用する場合、通常はポート番号を変換する必要はありません。

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字と半角記号（「 」、「*」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」は除く）	(なし)
WANポート	ルールを適用するWAN側（送信元）ポート番号を設定します。	1～65535	(なし)
LAN IPアドレス	サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	(なし)
LANポート	サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送するときの送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がある場合は、「WANポート」と同じ値を設定します。	1～65535	(なし)
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

3 「オプション」欄にある「OK」をクリック

- 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- 「キャンセル」をクリックすると、入力した内容が削除されます。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「オプション」欄にある「OK」をクリック

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

ルールが削除されます。

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 特殊なアプリケーション

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特殊なアプリケーションを利用できるようにします。最大16件まで登録できます。

- ・アプリケーションが利用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。

■ ルールを登録する場合

1 「追加」をクリック

2 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「*」、「:」、「 」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「 」、「<」、「>」、「?」は除く）	（なし）
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
起動ポート	制御データ用のポート番号を設定します。	1～65535	（なし）
起動プロトコル	制御データに利用するプロトコルを設定します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
オープン プロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
オープン ポート	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を設定できます。	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結*	（なし）

※ 範囲指定する場合、開始ポート番号と終了ポート番号の差は200以下にしてください。

3 「オプション」 欄にある「OK」をクリック

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順1～3を繰り返します。
- ・ 「キャンセル」をクリックすると、入力した内容が削除されます。

4 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「オプション」欄にある「編集」をクリック

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し「オプション」欄にある「OK」をクリック

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 設定一覧から、削除したいルールの「オプション」欄にある「削除」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

ルールが削除されます。

・ 必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 「適用」をクリック

確認画面が表示されます。

4 「OK」をクリック

設定が完了し、登録されます。

■ DMZ設定

LAN内にある特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Webサーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用したりできるようになります。

- DMZホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保することをおすすめします。
- LAN側端末をIPアドレスで指定するため、DMZホストになる端末にはDHCPで割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。
→P.93

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
DMZステータス	DMZ機能を設定するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
DMZ IPアドレス	DMZホストのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.8.100

2 「適用」をクリック

■ SIP ALG設定

SIPアプリケーションを利用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
SIP ALGを有効にする	SIP ALG機能を有効にするかどうかを設定します。	有効、無効	有効
SIPポート	SIPサービスプロバイダから指定されたポート番号を入力します。	1～65535	5060

2 「適用」をクリック

■ UPnP設定

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセージングソフトなどのUPnP対応アプリケーションを利用するときに設定します。

1 UPnP機能の有効／無効を選択する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
UPnPステータス	UPnP機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効

2 「適用」をクリック

■ NAT設定

Symmetric NAT、Cone NATを利用できます。ゲーム機器などでグローバルなIPアドレスを共有して利用するときに設定します。

1 「Cone」／「Symmetric」を選択する

- ・ 初期値は「Symmetric」です。

2 「適用」をクリック

システム

Mobile WiFi全体の設定や操作を行います。

1 設定画面で「システム」をクリック

「システム」のメニューが表示されます。



2 設定する機能をクリック

機 能	説 明	参照先
デバイス情報	本端末に関する情報を表示します。	P.104
パスワードの変更	Mobile WiFiのログイン時に入力するパスワードを変更できます。	P.105
リセット	設定内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。	P.106
USBテザリング	USBテザリング機能を利用するかどうかを設定します。	P.106
高速ブート	本端末の起動時間を短縮できます。	P.107
ソフトウェア更新	一定間隔で新しいバージョンのソフトがないか確認するかどうかを設定します。	P.107
スリープモード遠隔解除	本端末のネットワークスリープ状態を、Android搭載端末およびiPhone/iPod touch/iPadのBluetooth機能を利用して解除できるようにするかどうかを設定します。	P.108
自動再起動	間隔（日）経過後の設定時刻に本端末を自動的に再起動します。	P.109
再起動	本端末を再起動できます。	P.109

■ デバイス情報

本端末に関する情報を表示します。

■ パスワードの変更

Mobile WiFiのログイン時に入力するパスワードを変更できます。

- お買い上げ時のパスワードは「admin」に設定されています。

1 「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワードの確認」を入力

- パスワードは最大15文字までの半角英数字と半角記号（「.」、「!」、「:」、「;」、「¥」、「&」、「%」、「+」、「'」、「<」、「>」、「?」は除く）で設定します。
- 「パスワードの確認」には確認のために、新しいパスワードを再入力してください。

2 「適用」をクリック

パスワードが変更され、ホーム画面に戻ります。

- 設定を続ける場合は、新しいパスワードでログインしてください。

■ リセット

設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- ・ 本端末をお買い上げ時の設定に戻すと、ご購入後に設定した内容はすべて削除されるので十分にご注意ください。
- ・ お買い上げ時の設定に戻しても、Micro SIMカードに登録されたPIN1コードなどの登録内容は、お買い上げ時の状態には戻りません。

1 「リセット」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

設定内容が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

- ・ 設定を続ける場合は、本端末の起動後もう一度ログインしてください。

お知らせ

- ・ RESETボタンを5秒以上押し続けても、お買い上げ時の設定に戻ります。→P.18
「リセット」の実行時と同様に、設定内容が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。
-

■ USBテザリング

USBテザリング機能を利用するかどうかを設定します。USBテザリング機能を利用すると、パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。

- ・ 初期値は「オン」です。
- ・ USB接続ケーブルで接続したパソコンからUSBテザリング機能をオフにすると、そのままではMobile WiFiを利用できなくなります。その場合は、本体メニューでUSBテザリング機能をオンにして（→P.123）からMobile WiFiを起動するか、または本端末とパソコンをWi-Fiで接続して、Mobile WiFiを起動してください。

1 「オン」／「オフ」を選択する

2 「適用」をクリック

3 「OK」をクリック

■ 高速ブート

本端末の起動時間を短縮するかどうかを設定します。

1 「オン」／「オフ」を選択する

- ・ 初期値は「オン」です。

2 「適用」をクリック

お知らせ

- ・ 以下の場合は、高速起動をオンにしても通常起動となります。
 - 電池パックの電圧が規定電圧より低いとき
 - 本端末が高温になり電源がオフになったあと最初に起動するとき
 - SIMカードが以下の状態のとき
 - ・ SIMカードが無効
 - ・ 取り付けられていない
 - ・ 抜き差しをした
 - ・ PIN1コード認証が有効の状態、PIN1コードが未入力の時
 - 電池パックを本端末から外して再度取り付けたとき
 - 高速ブートで11回目に本端末を起動したとき（以降、高速ブートで10回起動するごとに1回通常起動となります）
 - 電源を入れてから、5分以内に再度電源を入れたとき
 - 電源がオフの状態充電を行ったとき
-

■ ソフトウェア更新

一定間隔で新しいバージョンのソフトウェアがないか自動的に確認するかどうかを設定します。

1 「オン」／「オフ」を選択する

- ・ 初期値は「オン」です。

2 「適用」をクリック

■ スリープモード遠隔解除

本端末のネットワークスリープ状態を、Android搭載端末およびiPhone/iPod touch/iPadのBluetooth機能を利用して解除できるようにするかどうかを設定します。

- ・ Bluetooth対応機器を選択してペアリング（接続設定）することはできません。

1 「オン」／「オフ」を選択する

- ・ 初期値は「オン」です。

2 「適用」をクリック

■ ネットワークスリープ状態を遠隔解除するには（Android搭載端末の場合）

ここでは、Androidスマートフォン（Android 5.0）を使用した場合を例にして説明します。お使いのAndroid搭載端末、Androidのバージョンによって操作が異なります。詳しくは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

1 Android搭載端末のアプリケーション一覧画面で「設定」→「Bluetooth」をタップ

2 「Bluetooth」の「OFF」をタップして「ON」にする

3 「デバイスの検索」をタップ

4 一覧画面から本端末の「SSID」が表示されている項目をタップ

- ・ 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。
- ・ ペア設定に失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「OK」をタップしてください。本端末のネットワークスリープ状態が解除されます。

■ ネットワークスリープ状態を遠隔解除するには（iPhone/iPod touch/iPadの場合）

ここでは、iPhone/iPod touch/iPad（iOS 8）を使用した場合を例にして説明します。

1 iPhone/iPod touch/iPadのホーム画面で「設定」→「Bluetooth」をタップ

2 「Bluetooth」をオンにする

3 一覧画面から本端末の「SSID」が表示されている項目をタップ

- ・ 「SSID」は、付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。
- ・ 「接続できませんでした」というメッセージが表示されたときは、「このデバイスの登録を解除」をタップしてください。

本端末のネットワークスリープ状態が解除されます。

■ ネットワークスリープ状態を遠隔解除するには（「Huawei HiLink」アプリを利用する場合）

Android搭載端末にインストールした「Huawei HiLink」アプリから、本端末のネットワークスリープ状態を解除できます。

- ・ Android搭載端末と本端末がいったんWi-Fi接続され、「Huawei HiLink」アプリが起動された状態から本端末がネットワークスリープ状態に入った場合に操作できます。
- ・ 「Huawei HiLink」アプリはGoogle Playからダウンロードしてください。

1 「Huawei HiLink」アプリのホーム画面で「リモートウェイクアップ」をタップ

Android搭載端末のBluetooth機能がオンになり、本端末のネットワークスリープ状態が解除されます。

■ 自動再起動

指定した日数間隔で本端末を自動的に再起動させるかどうかを設定します。

1 以下の項目を設定する

設定項目	説 明	設定範囲	初期値
自動再起動	自動再起動するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
間隔（日）	何日ごとに再起動するか設定します。	1～30	30
時刻	何時に再起動するか設定します。	0～23	2

2 「適用」をクリック

お知らせ

- 自動再起動が有効の場合、間隔（日）経過後の設定時刻に自動的に再起動します。当日の午前0時から自動再起動の設定時刻までに本端末の電源オフや再起動を行うと、自動再起動は動作しません。

■ 再起動

本端末を再起動します。

1 「再起動」をクリック

確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリック

本端末が自動的に再起動します。

- 設定を続ける場合は、本端末の起動後もう一度ログインしてください。

オープンソース情報

本端末に含まれるソフトウェアのライセンス情報を確認できます。

1 設定画面で「オープンソース情報」をクリック

データ通信量を確認する

ホーム画面でデータ通信量の目安を確認できます。手順はパソコンでの操作を例としています。

- ・ 事前にMobile WiFi画面を起動しておいてください。→P.71
- ・ 海外でのご使用时、データ通信量はカウントされません。
- ・ 公衆無線LANに接続しているときは、データ通信量はカウントされません。
- ・ 以下のとき、データ通信量はクリアされます。
 - Micro SIMカードを、別のMicro SIMカードに差し替えたとき
 - 本端末をリセットしたとき
 - 毎月1日の0時

1 メニューリストの「通信利用状況」をクリック

「データ通信量」、「接続済Wi-Fiクライアント」についての情報が表示されます。



項 目	表示内容	説 明
データ通信量	データ通信量 (From XXXX/ XX/XX)	XXXX/XX/XXに表示されている年月日からの、データ通信量は端末目安となります。実際のデータ通信量と異なることがあります。正確なデータ通信量を確認するためには、ご利用のSIMカードのサービスプロバイダにご確認ください。
接続済Wi-Fi クライアント	ID	接続順に番号が表示されます。
	IPアドレス	Wi-Fi対応機器で使用されているIPアドレスを表示します。
	ホスト名	Wi-Fi対応機器に付けられている名前を表示します。名前が無い場合には空欄となります。
	MACアドレス	Wi-Fi対応機器のMACアドレスを表示します。
	接続時間	Wi-Fi対応機器が接続されてからの経過時間を表示します。

■ データ通信量の情報をリセットするには

「リセット」をクリックすると、データ通信量がリセットされます。

1 「リセット」をクリック

2 「OK」をクリック

お知らせ

- ・ 表示されるデータ通信量は概算となります。正確なデータ通信量を確認したい場合は、ご利用のSIMカードのサービスプロバイダにご確認ください。
-



ソフトウェアの更新をする

Mobile WiFi画面から、ソフトウェアの更新をします。

- 手順については「Mobile WiFiからソフトウェア更新をする」(→P.148)をご覧ください。

各種設定（本体メニュー）

本端末の本体メニューについて	115
各種機能の詳細設定をする	117

本端末の本体メニューについて

本端末は、タッチパネルを操作してメニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本体メニューでは一部の機能を設定できません。Mobile WiFiを利用するとすべての機能を設定できます。→P.76
- 本端末でタッチパネルを表示中はMobile WiFiにログインできません。また、Mobile WiFiで設定中に本端末のタッチパネルを操作すると、Mobile WiFiでの設定が中断される場合があります。

メニュー操作はホーム画面から行います。



ホーム画面

■ 画面がロックされている場合

タッチパネルをフリックしてロックを解除してください。

- パスコードが設定されているときは、パスコードを入力します。



■ 前の画面に戻る場合

- 画面左上のをタップします



■ ホーム画面に戻る場合

- 画面右上のをタップします。



各種機能の詳細設定をする

エコモード設定

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にオフ（ネットワークスリープ状態）にするかどうかを設定したり、画面の明るさや点灯時間を設定したりできます。


1 ホーム画面で「メニュー」→「エコモード」をタップ

エコモード設定画面が表示されます。

ネットワークスリープ

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にオフにするかどうかを設定します。

1 エコモード設定画面で「ネットワークスリープ」のをタップ

- ・ をタップすると、ネットワークスリープを「オフ」にできます。

2 「スリープまでの時間」をタップ

3 Wi-Fi機能を自動的にオフにするまでの時間を選択する

- 10分（初期値）
- 20分
- 30分

4 をタップ

お知らせ

- ・ 以下の条件のとき、Wi-Fi機能が自動的にオフになります。
 - Wi-Fi対応機器が接続されていない
 - 充電中でない
 - 画面が消灯している

Wi-Fi帯域幅設定

Wi-Fiの周波数帯域幅を設定します。

1 エコモード設定画面で「Wi-Fi帯域幅設定」をタップ

2 利用する周波数帯域幅を選択する

■2.4GHzのとき

- 20MHz（初期値）
- 20MHz/40MHz

■5GHzのとき

- 20MHz（初期値）
- 20MHz/40MHz/80MHz

3 をタップ

■ Wi-Fi MIMO

Wi-Fi MIMO（複数のアンテナを組み合わせるデータ送受信の帯域幅を広げる技術）を利用するかどうかを設定します。

1 エコモード設定画面で「Wi-Fi MIMO」をタップ

2 「使用する」／「使用しない」をタップ

3 をタップ

■ 画面の明るさ

本端末の画面の明るさを調整します。

1 エコモード設定画面で「画面の明るさ」のを左右にドラッグ

- ・ 画面が明るくなったり、暗くなったりするので好みの明るさに調整してください。

■ 画面点灯時間

本端末の画面から手を離してから、消灯するまでの時間を設定します。

1 エコモード設定画面で「画面点灯時間」をタップ

2 画面を点灯させる時間を選択する

- 15秒
- 30秒
- 60秒（初期値）
- 120秒
- 10分

3 をタップ

接続ガイド

画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「接続ガイド」をタップ

接続ガイド画面が表示されます。

2 「次へ」をタップ

3 接続方法を選択する

- 手動入力
- WPS
- 画面の説明に従って、手順を完了させてください。

Wi-Fi設定

Wi-Fi機能に関する設定ができます。


1 ホーム画面で「メニュー」→「Wi-Fi設定」をタップ

Wi-Fi設定画面が表示されます。

ネットワークスリープ

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にオフにするかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「ネットワークスリープ」のをタップ

- をタップすると、ネットワークスリープを「オフ」にできます。

2 「スリープまでの時間」をタップ

3 Wi-Fi機能を自動的にオフにするまでの時間を選択する

- 10分（初期値）
- 20分
- 30分

4 をタップ

お知らせ

- 以下の条件のとき、Wi-Fi機能が自動的にオフになります。
 - Wi-Fi対応機器が接続されていない
 - 充電中でない
 - 画面が消灯している

■ Wi-Fiモード

利用する周波数帯を設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fiモード」をタップ

2 利用する周波数帯を選択する

- 2.4GHz（初期値）
- 5GHz

3 をタップ

「2.4GHz」を選択した場合は、操作は終了です。

- ・「5GHz」を選択した場合は、手順4に進んでください。

4 メッセージを確認して「OK」をタップ

DFSチェックが開始され、電波干渉がないことを確認後にネットワークに接続されます。

- ・メッセージ画面で「キャンセル」をタップすると、設定を中止してWi-Fi設定画面に戻ります。

お知らせ

- ・ Wi-Fi 5GHz帯を利用するときは、気象レーダーなどとの電波干渉を避けるため、以下の条件でDFSチェックを行います。
 - Wi-Fiモードを「5GHz」に設定したとき。
 - Wi-Fi 5GHzを利用中にネットワークスリープの設定を「オン」または「オフ」に変更したとき。
 - ネットワークスリープの時間設定を変更したとき。
 - ネットワークスリープ機能が作動してWi-Fi接続がオフになった後、再度オンになったとき。
 - Wi-Fi接続が切断された状態から再接続したとき。
- ・ DFSチェックには約1分間かかります。DFSチェックを実行中は一時的にネットワークが切断され、電波干渉が起きないことが確認された後、自動的に再接続されます。本端末に接続しているWi-Fi対応機器との接続も切断されますので、ネットワークに再接続された後、必要に応じてWi-Fi対応機器側で再接続の操作を行ってください。
- ・ DFSチェックが開始されると、本端末のタッチパネルにメッセージが表示されます。メッセージ下部には以下のボタンが表示されます。
 - 「続ける」：メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
 - 「2.4GHzに変更する」：DFSチェックを中止してWi-Fi 2.4GHz帯で接続します。必要に応じてどちらかのボタンをタップしてください。「続ける」をタップするか、ボタンをタップせずに約1分間*経過するとDFSチェックが終了し、Wi-Fi 5GHz帯が利用可能になります。
※DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。
- ・ ご使用のWi-Fi対応機器がWi-Fi 5GHz帯に対応しているかご確認ください。本端末では、Wi-Fi 5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続できません。ご使用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご使用ください。
- ・ Micro SIMカードが未挿入、国際ローミング中、またはWi-Fiの利用国に日本以外の国が設定されている（→P.89）場合は、Wi-Fi 5GHz帯は選択できません。

■ Wi-Fi帯域幅設定

Wi-Fiの周波数帯域幅を設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fi帯域幅設定」をタップ

2 利用する周波数帯域幅を選択する

■2.4GHzのとき

- 20MHz（初期値）
- 20MHz/40MHz

■5GHzのとき

- 20MHz（初期値）
- 20MHz/40MHz/80MHz

3 ☒をタップ

■ Wi-Fi MIMO

Wi-Fi MIMO（複数のアンテナを組み合わせるデータ送受信の帯域幅を広げる技術）を利用するかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fi MIMO」をタップ

2 「使用する」／「使用しない」をタップ

3 ☒をタップ

■ WPS

WPS機能のプッシュボタン方式を利用して、Wi-Fi対応機器を本端末に接続できます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「WPS」をタップ

WPS画面が表示されます。

2 「WPS」をタップ

- ・ 120秒以内にWi-Fi対応機器側でWPS接続の操作をしてください。

■ 公衆無線LAN設定


公衆無線LAN機能の設定をします。

1 ホーム画面で「メニュー」→「公衆無線LAN設定」をタップ

公衆無線LAN設定画面が表示されます。

2 「公衆無線LAN設定」のをタップ

接続履歴のあるアクセスポイントが通信可能範囲に見つかった場合は、そのアクセスポイントに自動的に接続されます。

- をタップすると、公衆無線LANを「オフ」にできます。

3 「利用可能なネットワーク」をタップ

自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なアクセスポイント名が一覧で表示されます。

■ オープンなアクセスポイントに接続する場合

1 接続するアクセスポイントを選択する

- アクセスポイントをタップすると自動的に接続されます。

■ セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合

1 接続するアクセスポイントを選択する

2 パスワードを入力

3 をタップ

■ アクセスポイントに手動設定で接続する場合

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

1 をタップ

2 SSIDを入力

3 をタップ

4 セキュリティ方法を選択する

- セキュリティ方法は「オープン」「WEP」「WPA2-PSK」「WPA/WPA2-PSK」「EAP-SIM」「EAP-AKA」から選択できます。

5 をタップ

6 パスワードを入力

- 手順4でセキュリティ方法に「オープン」を選択した場合は、パスワードの入力は不要です。

7 をタップ

APN設定

接続先APNの設定が複数ある場合、接続先APNを変更できます。

- 接続先APNを新規に追加する場合、および編集する場合は、Mobile WiFi画面から設定してください。→P.79

1 ホーム画面で「メニュー」→「APN設定」をタップ

APN設定画面が表示されます。

2 アクセスポイントを選択する

3 をタップ

USBテザリング

USBテザリング機能を利用するかどうかを設定します。USBテザリング機能を利用すると、パソコンと本端末をUSB接続ケーブルで接続して、データの送受信ができます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「USBテザリング」をタップ

USBテザリング画面が表示されます。

2 「充電のみ」／「充電とUSBテザリング利用」をタップ

- 充電のみ
- 充電とUSBテザリング利用（初期値）

3 をタップ

接続中ユーザー

Wi-Fi接続中のユーザーの確認やブロックの設定／解除ができます。
USB接続ケーブルで接続中のユーザーは表示されません。

1 ホーム画面で「メニュー」→「接続中ユーザー」をタップ

接続中ユーザーが表示されます。

■ ブロックリストにユーザーを追加する場合

1 ブロックしたいユーザーの右側にあるをタップ

2 「OK」をタップ

■ ブロックリストからユーザーを削除する場合

1 をタップ

2 ブロックリストから削除するユーザーのをタップ

3 「OK」をタップ

詳細設定

本端末のさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「詳細設定」をタップ

詳細設定画面が表示されます。

■ ディスプレイ画面設定

本端末のタッチパネルの明るさや、スリープの設定ができます。

1 詳細設定画面で「ディスプレイ画面設定」をタップ

■ 画面の明るさを設定する場合

本端末の画面の明るさを調整します。

1 「画面の明るさ」のを左右にドラッグ

- ・ 画面が明るくなったり、暗くなったりするのでお好みの明るさに調整してください。

■ 画面の点灯時間を設定する場合

本端末の画面から手を離してから、消灯するまでの時間を設定します。

1 「画面点灯時間」をタップ

2 画面を点灯させる時間を選択する

- 15秒
- 30秒
- 60秒（初期値）
- 120秒
- 10分

3 をタップ

■ パスコード設定

画面ロックを解除するときに、あらかじめ設定したロック番号の入力を行わないと本端末を使用できないように設定します。

画面ロックから30秒以上経過すると、パスコード入力画面が表示されます。

1 詳細設定画面で「パスコード設定」をタップ

■ パスコードをオン／オフする場合

1 「パスコード設定」の / をタップ

2 4桁の数字を順番にタップ

- ・  をタップすると入力した数字を削除できます。

3 確認のため4桁の数字を再入力

- ・ オフにする場合は、数字の再入力は不要です。

■ パスコードを変更する場合

1 「変更」をタップ

2 現在のパスコードを入力→新しいパスコードを入力→確認のため、新しいパスコードを再入力

■ ネットワーク設定

接続できるネットワークの優先度と検索する方法を設定します。

- 優先モードを変更した場合や、ネットワークの検索中は、ネットワークから切断される（圏外になる）ことがあります。設定を変更するときには、ご注意ください。

1 詳細設定画面で「ネットワーク設定」をタップ

■ 優先モードを設定する場合


1 「優先モード」→「LTE/3G（自動）」／「3G」をタップ

2 → 「OK」をタップ

■ 検索モードを自動／手動に設定する場合

1 「検索モード」→「自動」／「手動」をタップ

2 → 「OK」をタップ

- 「手動」を選択した場合には、ネットワークリストが表示されます。利用可能なネットワークを選択し、 → 「OK」をタップします。

■ PIN1コード管理

PIN1コード認証の有効／無効の設定ができます。

1 詳細設定画面で「PIN1コード管理」をタップ

2 「PIN1コード認証」の / をタップ

3 数字キーをタップしてPIN1コードを入力

-  をタップすると入力した数字を削除できます。


4 をタップ

お知らせ

- PIN1コードの変更はMobile WiFiの「モバイルネットワーク」から行います。→P.83
- PIN1コード認証を有効に設定すると、本端末の電源を入れたときにPIN1コード認証画面が表示されます。「PIN1コードの入力」をタップし、正しいPIN1コードを入力して「OK」をタップしてください。
- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。PIN1コードがロックされている状態で本端末の電源を入れると、PINロック解除コード（PUK）の認証画面が表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）と新しいPIN1コードを入力し、「OK」をタップしてください。→P.21
- Micro SIMカードが取り付けられていない場合は設定できません。

■ 言語

本端末の表示言語を切り替えることができます。

- 1 詳細設定画面で「言語」をタップ
- 2 「English」／「日本語」をタップ
- 3 をタップ

■ 時間設定

本端末の時間表示とタイムゾーンを設定できます。

- 1 詳細設定画面で「時間設定」をタップ

■ 24時間表示をオン／オフする場合

- 1 「24時間表示」の ／をタップ

■ タイムゾーンを設定する場合

- 1 「タイムゾーン」をタップ

- 2 タイムゾーンを選択する

- 3 をタップ

■ サマータイム表示をオン／オフする場合

サマータイムを採用しているタイムゾーンを選択すると、サマータイム表示のオン／オフを設定できます。

- 1 「サマータイム」の ／をタップ

お知らせ


- ・ 国際ローミング中や圏外のときは、時間を正確に取得できない場合があります。

■ 自動再起動

指定した日数間隔で本端末を自動的に再起動させるかどうかを設定します。

- 1 詳細設定画面で「自動再起動」をタップ

- 2 「自動再起動」の をタップ

- ・ をタップすると、自動再起動を「無効」にできます。

- 3 「間隔（日）」の日数表示をタップ

- 4 間隔日数を入力→をタップ

- ・ 間隔は、1～30の間で設定してください。

5 「時刻」の時刻表示をタップ

6 時刻を入力→をタップ

- 時刻は、0～23の間で設定してください。

お知らせ

- 自動再起動が有効の場合、間隔（日）経過後の設定時刻に自動的に再起動します。当日の午前0時から自動再起動の設定時刻までに本端末の電源オフや再起動を行うと、当日の自動再起動は実行されません。

■ スリープモード遠隔解除

本端末のネットワークスリープ状態を、Android搭載端末およびiPhone/iPod touch/iPadのBluetooth機能を利用して解除できるようにするかどうかを設定します。

1 詳細設定画面で「スリープモード遠隔解除」をタップ

2 「スリープモード遠隔解除」の/をタップ

お知らせ

- ネットワークスリープ状態を遠隔解除する手順については、「各種設定（Webブラウザ）」の「スリープモード遠隔解除」（→P. 108）をご覧ください。

■ SSID&PW

SSIDの名前とパスワードを設定できます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「SSID&PW」をタップ

SSID&パスワード設定画面が表示されます。

■ SSID

1 SSID&PW設定画面で「SSID」をタップ

2 変更したい名前に修正

3 をタップ

■ セキュリティ（暗号化方式）

1 SSID&PW設定画面で「セキュリティ（暗号化方式）」をタップ

2 変更したいセキュリティ（暗号化方式）を選択する

3  をタップ

■ パスワード

1 SSID&PW設定画面で「パスワード」をタップ

2 変更したいパスワードに修正

3  をタップ

データ通信量






データ通信量を確認できます。

- 1 ホーム画面で「メニュー」→「データ通信量」をタップ
データ通信量画面が表示されます。

リセット

- 1 データ通信量画面で「リセット」をタップ
- 2 「OK」をタップ
データ通信量画面には前回のリセット日時が表示されます。

設定

- 1 データ通信量画面で「設定」をタップ
 - ホーム画面にデータ通信量を表示／非表示に設定する場合
 - 1 「ホーム画面にデータ通信量を表示」の  をタップ
 - 最大データ通信量を設定する場合
 - 1 「最大データ通信量」の最大データ通信量表示をタップ
 - 2 数字キーをタップして最大データ通信量を入力
 - ・ 最大データ通信量は0～99の間で設定してください。
 - ・  をタップすると入力した数字を削除できます。
 - 3  をタップ
 - 設定値になったときに通知するかどうかを設定する場合
 - 1 「設定値になったときに通知する」の  をタップ
 - 2  を左右にドラッグして通知するデータ通信量を調節

QRコード表示

本端末でQRコードを表示して、「Huawei HiLink」アプリを使ってAndroid搭載端末で読み取ると、自動的に本端末と接続できます。

- ・ 手順については「Android™搭載端末を接続する」の「本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合」(→P. 53)をご覧ください。

ソフトウェア更新

本体でソフトウェア更新をします。

- ・ 手順については「本体でソフトウェア更新をする」(→P. 148)をご覧ください。

本端末の情報を確認する

本端末の情報を確認できます。

1 ホーム画面で「メニュー」→「端末情報」をタップ

端末情報画面が表示されます。

SSID&PW

SSIDとパスワードを表示します。

1 端末情報画面で「SSID&PW」をタップ

端末情報

本端末に関する情報を表示します。

1 端末情報画面で「端末情報」をタップ

Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意

Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意を表示します。

1 端末情報画面で「Wi-Fi 5GHz帯利用時のご注意」をタップ

付録

メニュー一覧	133
故障かな?と思ったら	141
ソフトウェア更新	148
主な仕様	151
データ通信端末の比吸収率 (SAR) について	154
輸出管理規制	156
知的財産権	157

メニュー一覧

メニュー一覧 (Webブラウザ)

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値
ホーム		
URL	—	192.168.8.1
言語	English、日本語	日本語
接続設定	—	http://www.huaweimobilewifi.com/html/mobilenetworksettings.html
ログイン		
パスワード	半角15文字まで	admin
取扱説明書	—	http://consumer.huawei.com/jp/mobile-broadband/support/manuals/e5383-jp.htm
設定		
クイック設定		
Wi-Fi設定の構成		
SSID	半角32文字まで	—
SSIDブロードキャスト	有効、無効	有効
セキュリティ (暗号化方式)	オープン(なし)、自動(WEP)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)	WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)
パスワード ^{*1}	半角64文字まで	—
ネットワークキー ^{*2}	—	—
プロバイダ設定		
プロファイル名	半角32文字まで	—
APN名	半角32文字まで	—
ユーザー名	半角32文字まで	—
パスワード	半角32文字まで	—
認証方式	自動、PAP、CHAP	CHAP
IPタイプ	IPv4、IPv4 & IPv6	IPv4
公衆無線LAN		
設定	オン、オフ	オフ
優先度	—	—
モバイルネットワーク		
PIN1コード管理		
現在のPIN1コード認証の状態	—	無効

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
	PIN1コード認証の設定	有効、無効、変更	—
	PIN1コード入力	4～8桁の数字	—
	新PIN1コード入力 ^{*3}	4～8桁の数字	—
	PIN1コードの確認 ^{*3}	4～8桁の数字	—
	残り入力回数	—	3
	ネットワーク設定		
	優先モード	LTE/3G（自動）、3G	LTE/3G（自動）
	検索モード	自動、手動	自動
	データ通信量表示	オン、オフ	オン
	最大データ通信量		
	E5383s-327のホーム画面に表示する最大データ通信量(GB)	1～99	0
	通知設定		
	データ通信量が設定値になったときに通知する	有効、無効	有効
	通知するデータ通信量	1%～100%	90%
	Wi-Fi設定		
	基本設定		
	SSID	半角32文字まで	—
	セキュリティ（暗号化方式）	オープン(なし)、自動(WEP)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)	WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)
	パスワード	半角64文字まで	—
	ネットワークキー1～4 ^{*2}	—	—
	現在のネットワークキー ^{*2}	ネットワークキー1～4	ネットワークキー1
	APアイソレーション	オン、オフ	オフ
	SSIDブロードキャスト	有効、無効	有効
	パスワードの表示	オン、オフ	オフ
	詳細設定		
	利用国判別	有効、無効	有効
	国 ^{*4}	(リスト項目)	日本

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
	Wi-Fiモード	2.4GHz、5GHz	2.4GHz
	チャンネル	2.4GHz：自動、1～13 5GHz：自動、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140	自動
	ネットワークスリープ	有効、無効	有効
	スリープまでの時間(分)	10、20、30	10
	Wi-Fi帯域幅	2.4GHz：20MHz、20MHz/40MHz 5GHz：20MHz、20MHz/40MHz/80MHz	20MHz
	Wi-Fi MIMO	使用する、使用しない	使用する
	WPS設定		
	WPS PIN	—	—
	MACアドレスフィルタ		
	MACアドレスフィルタ	無効、許可、拒否	無効
	MACアドレス	00～FFの10組の番号	—
	DHCP		
	IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.8.1
	サブネットマスク	0～255の4組の番号	255.255.255.0
	DHCPサーバ	有効、無効	有効
	開始IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.8.100
	終了IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.8.200
	DHCPリース時間(秒)	86400～604800	86400
	ルータ設定		
	ファイアウォールスイッチ		
	ファイアウォールを有効にする	オン、オフ	オン
	IPアドレスフィルタを有効にする	オン、オフ	オフ
	WANポートpingを無効にする	オン、オフ	オン
	LAN IPフィルタ		
	LAN IPアドレス	0～255の4組の番号	—
	LANポート	1～65535	—
	WAN IPアドレス	0～255の4組の番号	—

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
	WANポート	1～65535	—
	プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP
	ステータス	オン、オフ	オフ
	ポートマッピング		
	名前	半角30文字まで	—
	WANポート	1～65535	—
	LAN IPアドレス	0～255の4組の番号	—
	LANポート	1～65535	—
	プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
	ステータス	オン、オフ	オフ
	特殊なアプリケーション		
	名前	半角30文字まで	—
	ステータス	オン、オフ	オフ
	起動ポート	1～65535	—
	起動プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
	オープンプロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
	オープンポート	1～65535	—
	DMZ設定		
	DMZステータス	有効、無効	無効
	DMZ IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.8.100
	SIP ALG設定		
	SIP ALGを有効にする	オン、オフ	オン
	SIPポート	1～65535	5060
	UPnP設定		
	UPnPステータス	有効、無効	無効
	NAT設定	Cone、Symmetric	Symmetric
	システム		
	デバイス情報	—	—
	パスワードの変更	—	—
	現在のパスワード	半角15文字まで	—
	新しいパスワード	半角15文字まで	—
	パスワードの確認	半角15文字まで	—
	リセット	—	—
	USBデザリング	オン、オフ	オン
	高速ブート	オン、オフ	オン
	ソフトウェア更新	オン、オフ	オン

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
	スリープモード遠隔解除	オン、オフ	オン
	自動再起動		
	自動再起動	オン、オフ	オフ
	間隔（日）	1～30	30
	時刻	0～23	2
	再起動	—	—
	オープンソース情報	—	—
通信利用状況			
	データ通信量	—	—
	接続済Wi-Fiクライアント	—	—
ソフトウェア更新			

※1「セキュリティ（暗号化方式）」で「WPA2-PSK（AES）」または「WPA/WPA2-PSK（AES+TKIP）」を選択しているときに表示されます。

※2「セキュリティ（暗号化方式）」で「自動（WEP）」を選択しているときに表示されます。

※3「PIN1コード認証の設定」で「変更」を選択しているときに表示されます。

※4「利用国判別」で「無効」を選択しているときに設定できます。

※5「接続モード」で「自動」または「PPPoE接続」を選択しているときに表示されます。

※6「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択しているときに表示されます。

メニュー一覧（本体メニュー）

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値
メニュー		
エコモード		
ネットワークスリープ	オン、オフ	オン
スリープまでの時間	10分、20分、30分	10分
Wi-Fi帯域幅設定	2.4GHz：20MHz、 20MHz/40MHz 5GHz：20MHz、 20MHz/40MHz/80MHz	20MHz
Wi-Fi MIMO	使用する、使用しない	使用する
画面の明るさ	最小（0%）～最大（100%） （スライダーの可動範囲）	50%
画面点灯時間	15秒、30秒、60秒、120秒、 10分	60秒
接続ガイド	—	—
Wi-Fi設定		
ネットワークスリープ	オン、オフ	オン
スリープまでの時間	10分、20分、30分	10分
Wi-Fiモード	2.4GHz、5GHz	2.4GHz
Wi-Fi帯域幅設定	2.4GHz：20MHz、 20MHz/40MHz 5GHz：20MHz、 20MHz/40MHz/80MHz	20MHz
Wi-Fi MIMO	使用する、使用しない	使用する
WPS	—	—
公衆無線LAN設定		
公衆無線LAN設定	オン、オフ	オフ
利用可能なネットワーク	—	—
APN設定	—	—
USBテザリング	充電のみ、充電とUSBテザリ ング利用	充電とUSBテザリング利用
接続中ユーザー		
ブロックリスト	—	—
詳細設定		
ディスプレイ画面設定		
画面の明るさ	最小（0%）～最大（100%） （スライダーの可動範囲）	50%

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
	画面点灯時間	15秒、30秒、60秒、120秒、10分	60秒
	パスコード設定		
	パスコード設定	オン、オフ	オフ
	ネットワーク設定		
	優先モード	LTE/3G（自動）、3G	LTE/3G（自動）
	検索モード	自動、手動	自動
	PIN1コード管理	オン、オフ	オフ
	言語	English、日本語	日本語
	時間設定		
	24時間表示	オン、オフ	オン
	タイムゾーン	自動、各国のタイムゾーン	自動
	サマータイム ^{*3}	オン、オフ	オフ
	自動再起動		
	自動再起動	オン、オフ	オフ
	間隔（日）	1～30	30
	時刻	0～23	2
	スリープモード遠隔解除		
	スリープモード遠隔解除	オン、オフ	オン
	QRコードの表示	—	—
	SSID&PW	—	—
	SSID	半角32文字まで	—
	セキュリティ（暗号化方式）	オープン（なし）、自動（WEP）、WPA2-PSK（AES）、WPA/WPA2-PSK（AES+TKIP）	WPA/WPA2-PSK（AES+TKIP）
	パスワード	半角64文字まで	—
	データ通信量		
	リセット	—	—
	設定		
	ホーム画面にデータ通信量を表示	オン、オフ	オン
	最大データ通信量	0～99	0
	設定値になったときに通知する	オン、オフ	オン
	通知するデータ通信量	1%～100%	90%
	QRコード表示		
	QRコードの表示	—	—
	ソフトウェア更新		

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
	更新の自動確認	オン、オフ	オン
	最新ソフトウェア確認	—	—
	端末情報		
	SSID&PW	—	—
	端末情報	—	—
	Wi-Fi 5GHz帯利用時の ご注意	—	—

※1「接続モード」で「自動」または「PPPoE接続」を選択しているときに表示されます。

※2「接続モード」で「手動設定（固定IPアドレス接続）」を選択しているときに表示されます。

※3「タイムゾーン」でサマータイムを採用しているタイムゾーンを選択しているときに表示されます。

故障かな？と思ったら

- はじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P.148
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、コールセンターにお気軽にご相談ください。

■ 電源、充電に関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
本端末の電源が入らない	電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.22
	電池切れになっていませんか。	P.26、 P.27
画面が動かない、電源が切れない	画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末の電源を強制的に切ることができます。 ■強制終了方法 ⓪を約10秒間押し続けます。 ※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。	—
充電ができない	電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.22
	<ul style="list-style-type: none">• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。• ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのUSBコネクタとUSB接続ケーブルとがしっかりと接続されていますか。• USB接続ケーブルを使用してパソコンから充電を行う場合は、パソコンの電源が入っていますか。• 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が中断される場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.26、 P.27

■ 端末操作に関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。	—
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏外状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 ・ 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 ・ 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。 	P.24
電源断・再起動が起きる	電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	—

■ 本端末が認識されない

症状	チェック項目	参照ページ
USB接続ケーブルで接続したパソコンが本端末を認識しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本端末が、USB接続ケーブルで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。 ・ USB接続ケーブルをパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。 ・ USBハブを使用していませんか。USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。 ・ 本端末がパソコンに正しく取り付けられていることを確認してください。 	P.55、 P.61、 P.68

■ Micro SIMカードに関する症状


症状	チェック項目	参照ページ
Micro SIMカードが認識しない	Micro SIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.19

■ 接続、通信に関する症状

症状	チェック項目	参照ページ
Wi-Fi対応機器を接続できない	本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能がオンになっていることを確認してください。	—
	正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しているか、確認してください。パスワード（セキュリティキー）は付属の無線LAN初期設定シールに記載されています。また、暗号化方式に「WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)」を設定している場合は、お使いのWi-Fi対応機器がWPAおよびWPA2-PSKの暗号化方式に対応しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。	P.35、 P.131
	ネットワークスリープがオフになっていることを確認してください。	P.89、 P.117、 P.119
インターネットに接続できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。 また、時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、時間を置いて再度接続してください。	—
	Mobile WiFiを起動し、モバイルネットワークやネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください。	P.83、 P.85、 P.37
Mobile WiFiを起動できない	ご家庭のLAN内に設置されたルータなどと本端末のプライベートIPアドレスが同じ値になっている可能性があります。本端末のプライベートIPアドレスは、タッチパネルに表示して確認できます。 ルータなどの電源を切った状態で本端末の電源を入れると、Mobile WiFiにログインできます。 また、ご使用のルータなどと本端末を同時に使用したい場合は、本端末のプライベートIPアドレスを手動で変更してください。変更後はブラウザのアドレス入力欄に「http://（本端末のプライベートIPアドレス）/」または「www.huaweimobilewifi.com」と入力することで、Mobile WiFiを起動できます。	P.18、 P.93

症状	チェック項目	参照ページ
通信がすぐに切れる、通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> 電波状態が良くない場合があります。電波状態が良い場所に移動してください。 本端末とパソコンなどが、Wi-FiまたはUSB接続ケーブルによって接続されている場合、以下の手順を実行してください。それでも改善されない場合は、USB接続ケーブルを取り外してパソコンなどを再起動し、もう一度接続してください。 <ul style="list-style-type: none"> 本端末とパソコンなどをWi-Fiで接続している場合は、本端末の電源を入れ直してください。 本端末とパソコンなどをUSB接続ケーブルで接続している場合は、本端末をパソコンなどから取り外してもう一度接続してください。 回線の状態が良くない場合があります。時間をおいて再度試してください。 	—
本端末をパソコンに接続しても、インストーラーが自動的に起動しない	システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかることがあります。一定時間経過してもインストーラーが自動的に起動しない場合は、手動でインストーラーを起動してください。	P.61
	他のHUAWEI製データ通信端末のドライバをすでにインストールしている場合、アンインストールしてから再度試してください。	P.63、 P.68

■ その他

症状	チェック項目	参照ページ
管理者権限 (Administrator) で ログインしているの か分からない	<p>■ Windows 8.1／8をお使いの場合</p> <p>① デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、チャームで (設定) をクリックします。</p> <p>② 「コントロールパネル」をクリックして「コントロールパネル」画面を表示します。</p> <p>③ 「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」→「ユーザーアカウント」の順にクリックします。</p> <p>④ 画面の右側に表示されている、現在ログインしているユーザー名とアカウントの種類を確認します。 アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本端末をセットアップできます。</p> <p>■ Windows 7およびWindows Vistaをお使いの場合</p> <p>① 「スタート」→「コントロール パネル」をクリックして、「コントロール パネル」画面を表示します。</p> <p>② 「ユーザー アカウントと家族のための安全設定」をクリックして、次の画面で「ユーザー アカウント」をクリックします。 「ユーザー アカウントと家族のための安全設定」が表示されていない場合は、「ユーザー アカウント」をクリックします。</p> <p>③ 画面の右側に表示されている、現在ログインしているユーザー名とアカウントの種類を確認します。 アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本端末をセットアップできます。</p>	—



エラーメッセージ

■ Webブラウザ（Mobile WiFi）に表示されるメッセージ

メッセージ	チェック項目	参照ページ
SIMカードが検出されていないか、または無効です。	Micro SIMカードが取り付けられていません。Micro SIMカードを取り付けてください。	P.19
PIN1コードの入力を3回失敗しました。 PINロック解除コードを入力し、新しいPIN1コードを設定してください。	PIN1コードがロックされているときに表示されます。Mboile WiFiまたは本端末のタッチパネルからPINロック解除コード（PUK）と新しいPIN1コードを入力してください。	P.21、 P.84
PINロック解除コードの入力を10回間違えたためロックされました。ご利用のSIMカードのサービスプロバイダにご確認ください。	PINロック解除コードの入力に10回失敗したため、Micro SIMカードがロックされました。ご利用のSIMカードのサービスプロバイダにご確認ください。	P.21
E5383s-327本体の画面をロックしてから操作してください。	本端末のタッチパネルが表示されているときはMboile WiFiにログインできません。電源キーを押して、表示を消してください。	P.18
パスワードが不正です。 ログインに3回失敗したため、Mboile WiFiがロックされました。約3分後、再試行してください。	ログインパスワードの入力に3回失敗したため、Mboile WiFiがロックされました。約3分待ってから再度ログインしてください。	—
利用可能なアクセスポイントがありません。	本端末の近くに接続できるアクセスポイントがありません。場所を変更して再度試してください。	—
接続に失敗しました。	PINコードを間違えて入力したか、接続時間を過ぎました。Wi-Fi対応機器のPINコードを確認して、接続時間内に設定してください。	—

■ 本端末のタッチパネルに表示されるメッセージ

メッセージ	チェック項目	参照ページ
SIM未挿入または無効なSIM	Micro SIMカードが取り付けられていません。Micro SIMカードを取り付けてください。	P.19

メッセージ	チェック項目	参照ページ
PIN1コードを入力してください。	PIN1コード認証が有効になっており、PIN1コードの入力待ち状態です。Mboile WiFiまたは本体のタッチパネルからPIN1コードを入力してください。	P.84
PIN1コードの入力を3回失敗しました。PINロック解除コードを入力してください。	PIN1コードがロックされているときに表示されます。Mboile WiFiまたは本端末のタッチパネルからPINロック解除コード（PUK）と新しいPIN1コードを入力してください。	P.21、 P.84
PIN完全ロック状態です	PINロック解除コードの入力に10回失敗したため、Micro SIMカードがロックされました。ご利用のSIMカードのサービスプロバイダにご確認ください。	P.21
高温になっています。温度を下げるため、通信速度を抑えます。画面に  が表示されている間は速度制限がかかっています。	本端末が高温になったときに表示され、通信速度が遅くなります。本端末の温度が下がるまでお待ちください。	—
高温になっています。温度を下げるため、ネットワークを切断します。画面に  が表示されている間は通信できません。	本端末が高温になったときに表示され、ネットワークから切断されます。本端末の温度が下がるまでお待ちください。	—
高温になっています。電源をオフにします。	充電中またはパソコンとUSB接続ケーブルで接続中などに本端末が高温になっています。エラーメッセージの表示から数秒後、本端末の電源が自動的に切れます。USB接続ケーブルを取り外し、本端末の温度が下がるまでお待ちください。	—
電池残量がほとんどありません。今すぐ電源がオフになります。	電池残量が2%になると、エラーメッセージの表示から数秒後、本端末の電源が自動的に切れます。電池パックを十分に充電して、再度電源を入れてください。	P.14、 P.15、 P.16
電池でエラーが発生したか、電池が見つかりません。電池が正しく取り付けられていることを確認してください。	USB接続ケーブルでの充電時に、電池パックに問題が発生している状態です。電池パックが正しく取り付けられているかご確認ください。正しく取り付けられた状態でも表示されてしまう場合は、コールセンターにご連絡ください。	P.22
変更を反映中です。しばらくしてから再操作してください。	変更した設定内容を保存中に次の設定を行ったときに表示されます。30秒程度待ってから次の設定を行ってください。	—

ソフトウェア更新

E5383s-327のソフトウェア更新が必要なかをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

ソフトウェア更新が必要な場合には、HUAWEIのホームページにてご案内いたします。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗する場合があります。
- E5383s-327のソフトウェア更新が必要なかを、7日おきにネットワークに接続して確認します。更新可能なソフトウェアがある場合は、本端末の液晶画面にメッセージが表示されます。
 - ・ Mobile WiFi、または本端末でソフトウェアの更新がないかを、すぐに確認することもできます。→P.149、P.150
- ソフトウェア更新を行うときは、電池をフル充電しておいてください。更新時はACアダプタを接続する事をおすすめします。電池残量不足によりソフトウェア更新に失敗すると、製品が正常に使用できなくなる恐れがあります。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
 - ・ Micro SIMカードが未挿入のとき
 - ・ 圏外が表示されているとき*
 - ・ 国際ローミング中*
 - ・ 日付と時刻を正しく設定していないとき
 - ・ ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
 - ・ 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき

※ Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェアの更新を行うときには、パケット通信（課金対象）が発生します。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- 国際ローミング中は、「海外でのご利用時はソフトウェア更新を行うことはできません。」と表示されます。
- ソフトウェア更新のとき、お客様のE5383s-327固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、本端末が起動しなくなることや、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、コールセンターにご連絡いただきますようお願いいたします。

Mobile WiFiからソフトウェア更新をする

Mobile WiFiからソフトウェアの更新があるかを確認できます。また、更新がある場合には、パソコンおよび携帯端末からソフトウェアの更新を行うこともできます。手順はパソコンでの操作を例としています。

- ・ 事前にMobile WiFi画面を起動しておいてください。→P.71

1 メニューリストの「ソフトウェア更新」をクリック

ソフトウェアの更新がある場合には、更新がある旨のメッセージとバージョン、サイズなどが表示されます。



2 「今すぐ更新」をクリック

ソフトウェア更新用のパッケージのダウンロードが始まり、ダウンロードの状況が表示されます。ダウンロードが成功すると、ソフトウェア更新が開始され、ソフトウェア更新状況が表示されます。

ソフトウェア更新用パッケージのダウンロードに失敗した場合には、ダウンロードに失敗した旨のメッセージが表示されます。

ソフトウェア更新に成功すると「ソフトウェア更新に成功しました。」のメッセージが表示され、本端末が再起動します。

本体でソフトウェア更新をする

1 ホーム画面で「メニュー」→「ソフトウェア更新」をタップ


■ ソフトウェア更新を自動確認するかどうかを設定する場合

1 「更新の自動確認」の / をタップ

■ すぐにソフトウェア更新をする場合

1 ソフトウェア更新画面で「最新ソフトウェア確認」をタップ

最新のソフトウェアがあるかを確認します。

- ・ ソフトウェア更新の必要がないときには、「現在のバージョンは最新です。」と表示されます。「OK」→  をタップして、ホーム画面に戻ります。

2 「ソフトウェア更新」をタップ

本端末が自動的に再起動し、ソフトウェア更新を続行します。

ソフトウェア更新が成功すると、本端末が再度、再起動します。

主な仕様

■ 本体

品名		E5383-327
サイズ（高さ×幅×厚さ）		約58mm*94.5mm*16.4mm
質量		約130g（電池パックを含む）
連続通信時間	LTE-Advanced	約11.5時間
	LTE	約13時間
	3G（W-CDMA／HSDPA／HSUPA）	約11.5時間
連続待受時間	LTE	約1200時間
	3G（W-CDMA／HSDPA／HSUPA）	約1200時間
充電時間	ACアダプタ	電源オフ時：約130分
	USB接続ケーブル	電源オフ時：約400分
タッチパネル		種類：TFT 解像度：横320ドット×縦240ドット（QVGA） 約2.4inch
通信方式		WAN：LTE/W-CDMA/HSDPA/HSUPA 無線LAN：IEEE802.11a/n/ac（5GHz帯）、 IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯）
通信速度 ^{*1}	無線LAN	IEEE802.11a：54Mbps（5GHz帯） IEEE802.11b：11Mbps（2.4GHz帯） IEEE802.11g：54Mbps（2.4GHz帯） IEEE802.11n：300Mbps（5GHz帯、2.4GHz帯） IEEE802.11ac：867Mbps（5GHz帯）
	LTE-Advanced	パケット通信： 受信最大300Mbps ^{*2} 送信最大50Mbps ^{*2}
	LTE	パケット通信： 受信最大150Mbps ^{*2} 送信最大50Mbps ^{*2}
	3G	パケット通信： 受信最大14Mbps 送信最大5.7Mbps

対応周波数	WLAN	2400MHz～2483.5MHz（全13ch）
	LTE-Advanced	2GHz+1.5GHz、800MHz+1.7GHz、800MHz+2GHz
	LTE	2GHz、1.7GHz、1.5GHz、800MHz
	3G	2GHz、800MHz、新800MHz
Bluetooth 機能	バージョン	2.1
	出力	class 1
VPNプロトコル		ALG（IPSec、L2TP、PPTP）、VPNマルチパススルー
接続可能台数		10台（single AP）／9台（STA-AP）
デフォルト制限ポート		なし
インターフェイス		USB 2.0 High Speed（microUSB端子）

※1 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況により異なります。

※2 一部のエリアに限ります。

■ 電池パック

品名	電池パック
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.8V
公称容量	3000mAh

■ ACアダプタ

品名	ACアダプタ
電源	AC100V～240V 50/60Hz
入力電流	最大0.5A
出力電圧／電流	5.0V／2.0A
使用温度範囲	0℃～35℃
サイズ	約47mm × 約22mm × 約38mm

■ USB接続ケーブル

品名	USB接続ケーブル
ケーブルの長さ（コネクタ部分含む）	約1000mm



データ通信端末の比吸収率（SAR） について

この機種E5383s-327は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は0.738W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以下のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

【ファーウェイジャパン】のホームページ

<http://consumer.huawei.com/jp/mobile-broadband/support/manuals/e5383-jp.htm>

※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。



輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。



知的財産権



著作権・肖像権

お客様が本端末を使用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的利用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。また、お客様が本端末を使用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。



商標

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品は、Adobe Systems IncorporatedのAdobe[®] Reader[®] テクノロジーを搭載しています。

Copyright © 1984-2014 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、およびReaderは、Adobe Systems Incorporatedの米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi Certified[®]、WPA[™]、WPA2[™]とそのロゴは、Wi-Fi Alliance  登録商標です。

CERTIFIED

- iPhone、iPod touch、iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Google Chrome」、「Google Play」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- HUAWEIは、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1 Operating System (Pro、Enterprise) の略です。
- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8 Operating System (Pro、Enterprise) の略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。
- Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) の略です。